

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事 百々川橋（上り線）

設 計 図

令和 8 年 9 月

東日本高速道路株式会社
関東支社長野工事事務所

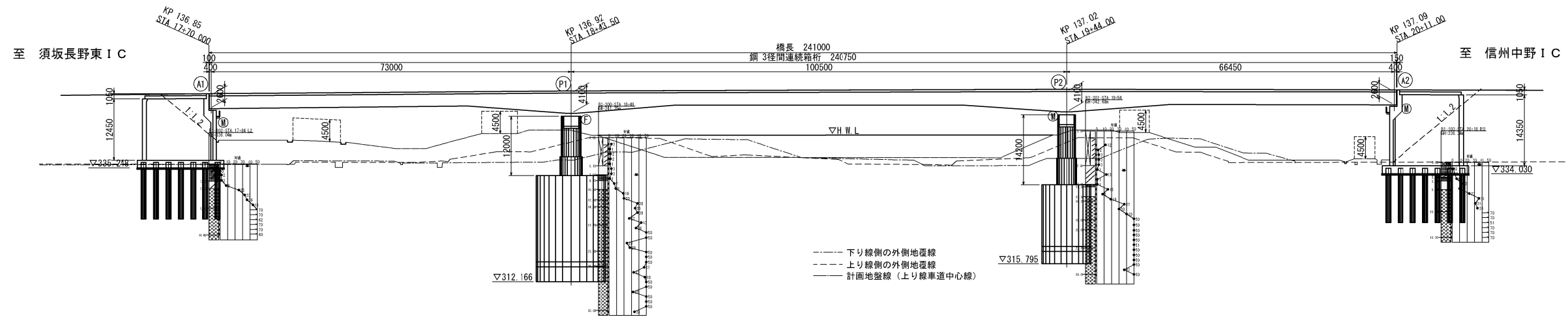
【 図 面 目 録 】

[illegible]

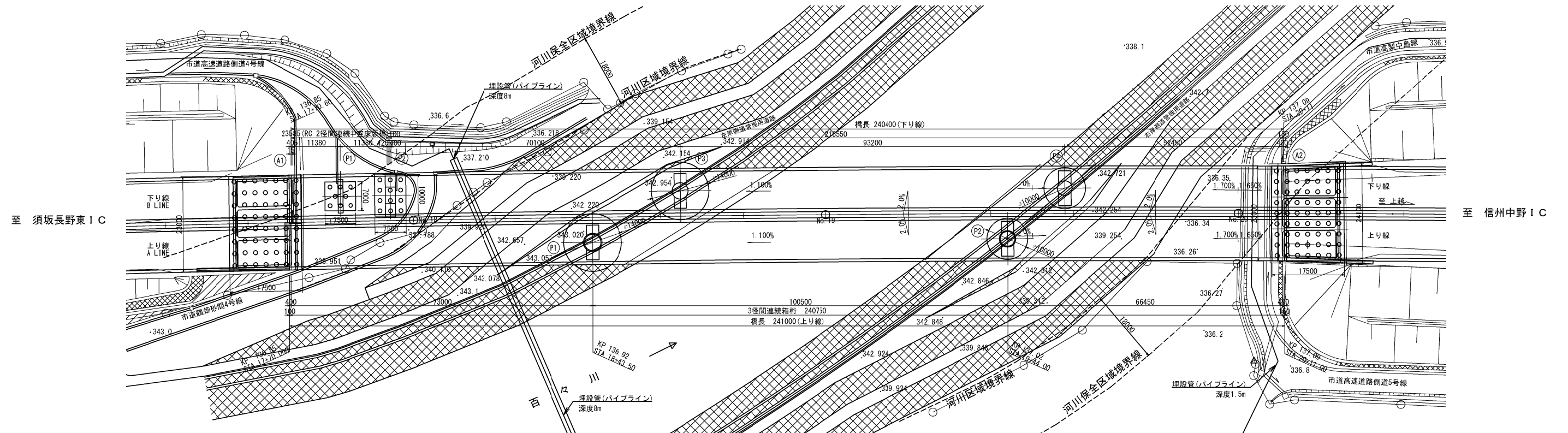
項目番号		2- (6)	2- (6)	8- (1)	8- (2)	8- (3)	1 7- (1 1)	1 7- (1 1)	1 7- (1 1)	1 7- (1 1)	1 7- (1 8)	特- (1 4)	特- (1 7)
項目名称		構造物掘削	構造物掘削	コンクリート	型わく	鉄筋	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	耐震補強用コンクリート表面処理工	塗膜除去工	薬液注入工
		特殊部 A－P 1	特殊部 A－P 2	A 1－5	TH	T	C 1－P 1	C 1－P 2	鋼製ブラケット	アンカー工 φ 5 1 ・ 6 2 5 (水平)	A	A	
単位		m 3	m 3	m 3	m 2	t	本	本	t	本	m 2	m2	L
百々川橋	A 1						4.0		0.980	32.0		2.0	
	P 1	354.2		53.5	147.0	5.825					127.3		
	P 2		388.4	53.3	163.5	4.928					140.9		79800.0
	A 2							4.0	0.744	24.0		1.9	
合計		354.2	388.4	106.8	310.5	10.753	4.0	4.0	1.724	56.0	268.2	3.9	79800.0

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線) 数量総括表		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

側面図
上り線

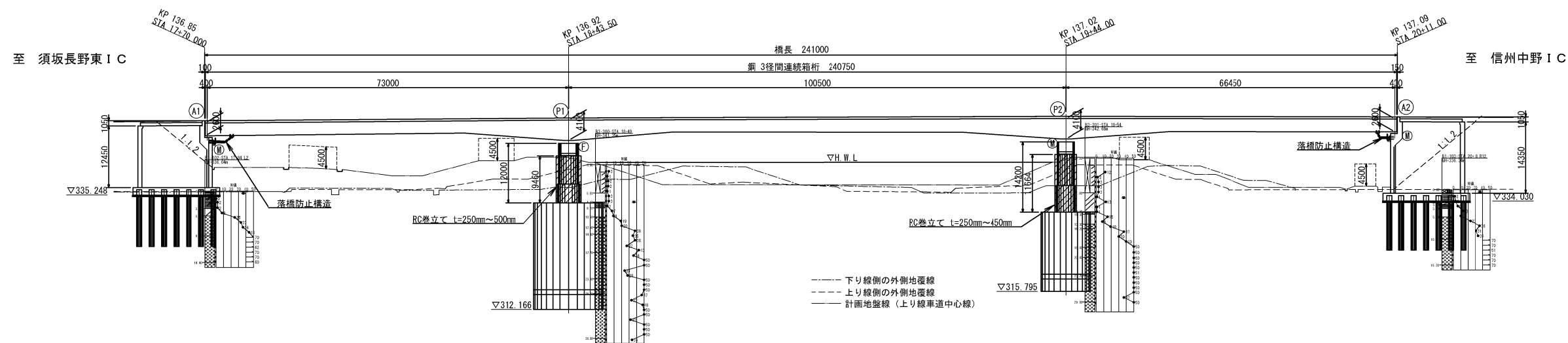


平面图

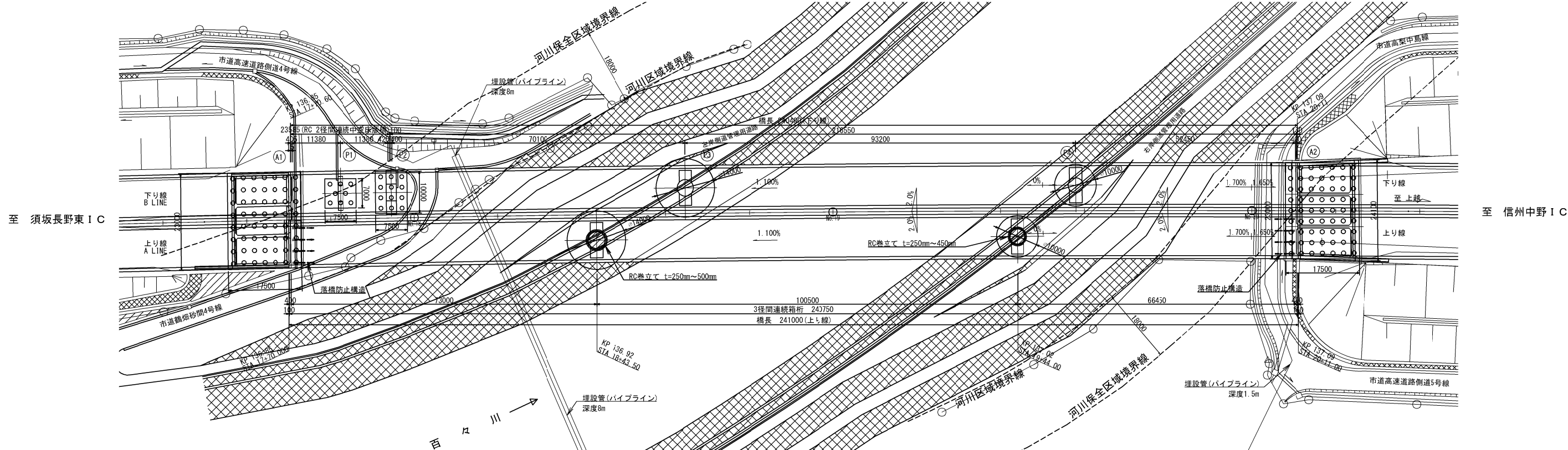


上 信 彦 自 動 車 道			
豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋 橋梁一般図		
縮 尺	1:1000	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 所		関東支社 工 事 所

側面図

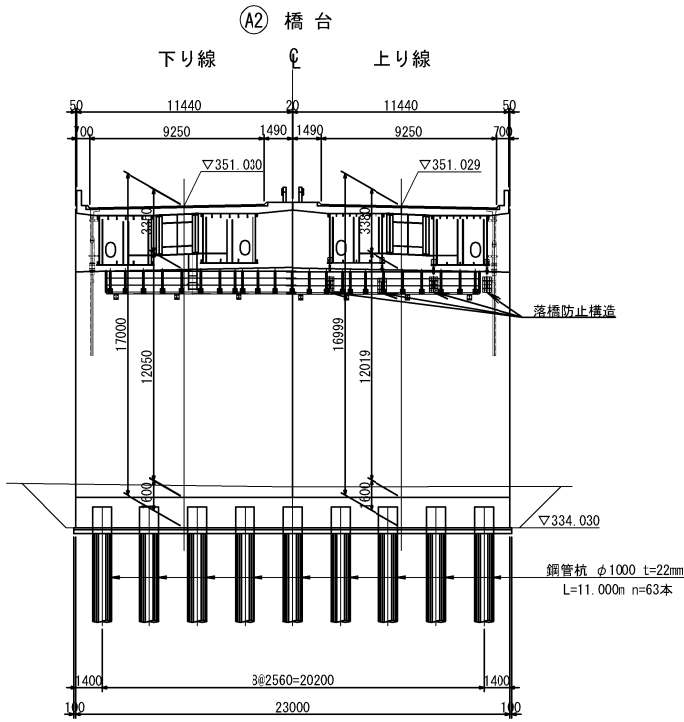
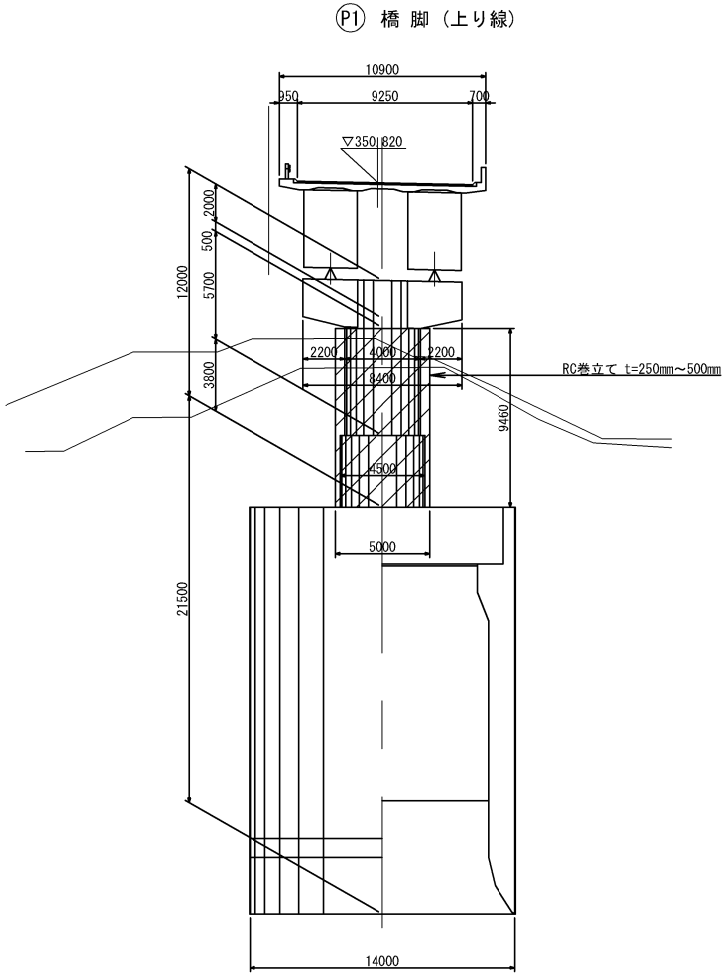
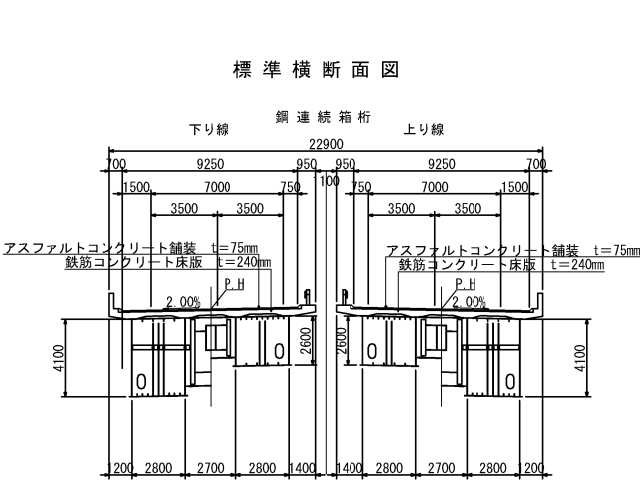


平面図



上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋 耐震補強一般図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

断面図

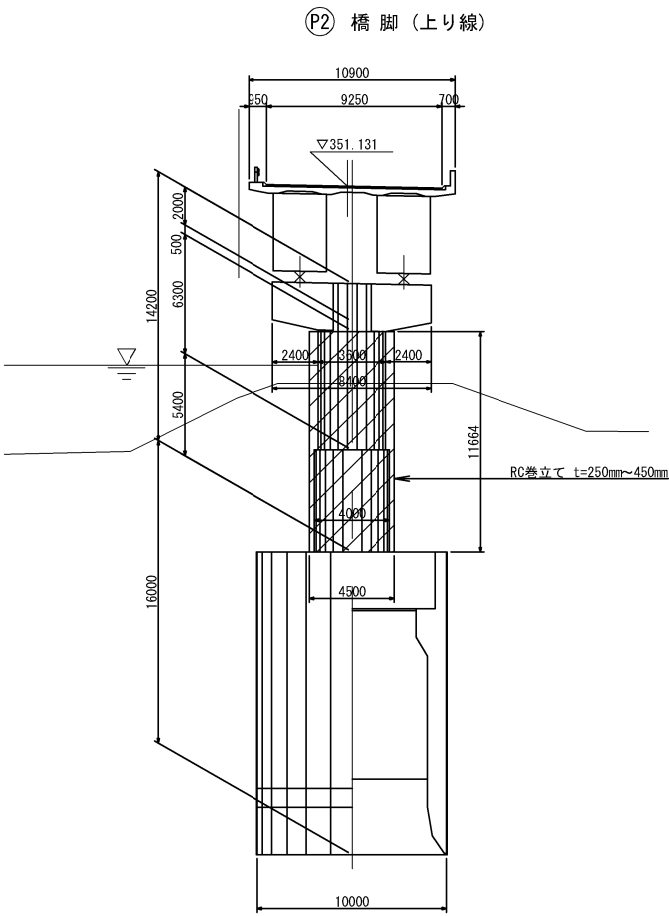
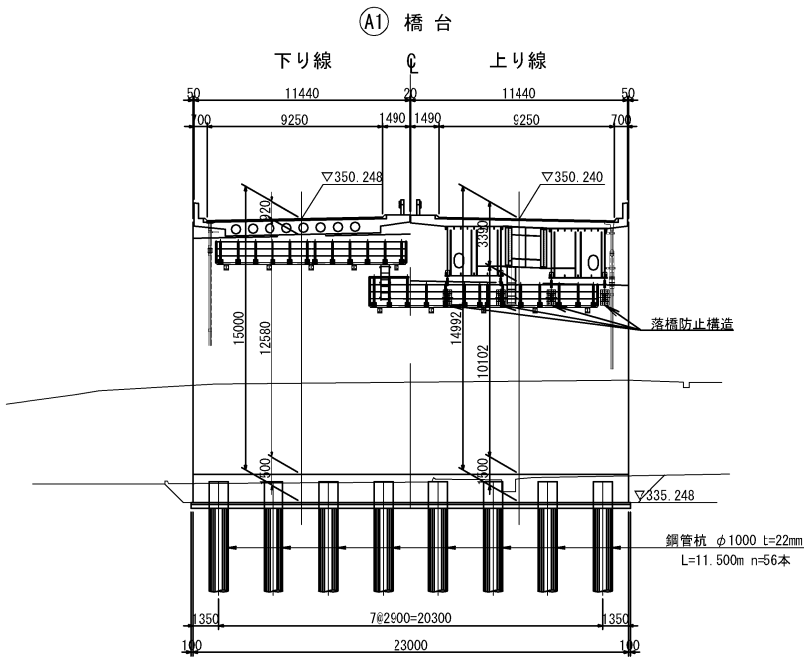


設計条件 (上り線)

橋長	241.000m	桁長	240.750m
道路規格	第1種 第2級 B規格		
荷重	TL-20 TT-43		
上部工形式	鋼 3 径間連続箱桁橋		
下部工形式	箱式橋台 (鋼管杭)、張出式RC円柱橋脚 (ケーソン基礎)		
支間	73.00m + 100.50m + 66.45m		
有効幅員	9.250m	斜角	90° ~ 00°
横断勾配	2.00%		
縦断勾配	1.10% 1.65% VCL=500		
設計震度	水平震度 $k_h = 1.0 \times 1.0 \times 1.0 \times 0.2 \times 1.25 = 0.25$		
床版コンクリート	$\delta_{ck} = 240 \text{ kg} \cdot \text{f} / \text{cm}^2$		
床版鉄筋	$\delta_{sa} = 1400 \text{ kg} \cdot \text{f} / \text{cm}^2$ SD345		
適用示方書	H2道路橋示方書・同解説		
使用材質	上部工 鋼材 SS400, SM490YA 下部工 躯体 $\delta_{ck} = 240 \text{ kg} \cdot \text{f} / \text{cm}^2$ SD345 鋼管杭 SKK400		

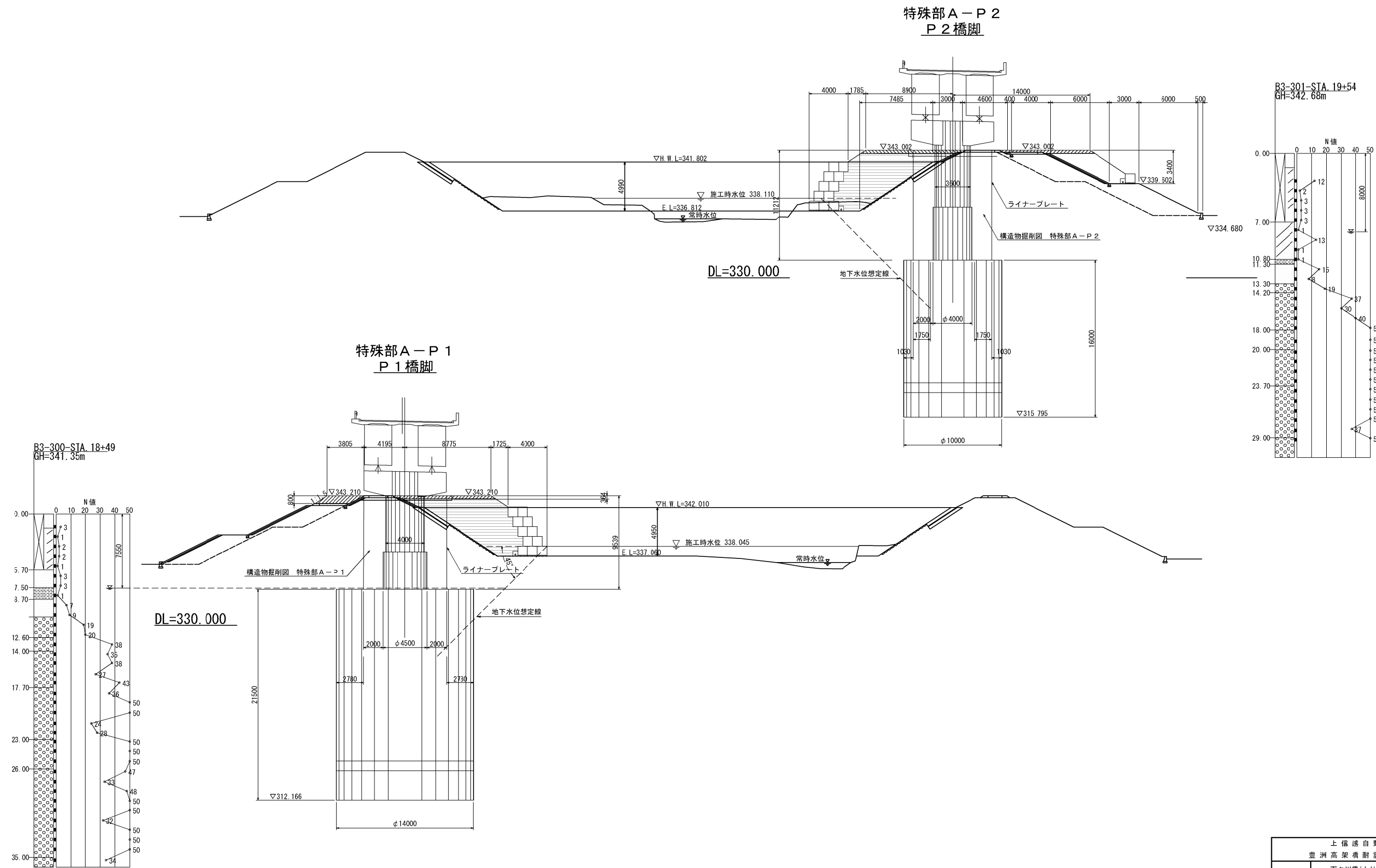
耐震補強設計条件

適用基準	R2設計要領 第二集 保全編 H24道路橋示方書・同解説 IV 下部工編 V 耐震設計編
活荷重	B活荷重
使用材料	コンクリート $\sigma_{ck} = 30 \text{ N} / \text{mm}^2$ 鉄筋 SD345
補強内容	橋脚 RC巻立て P1, P2 上部工 落橋防止構造：緩衝チェーン A1, A2



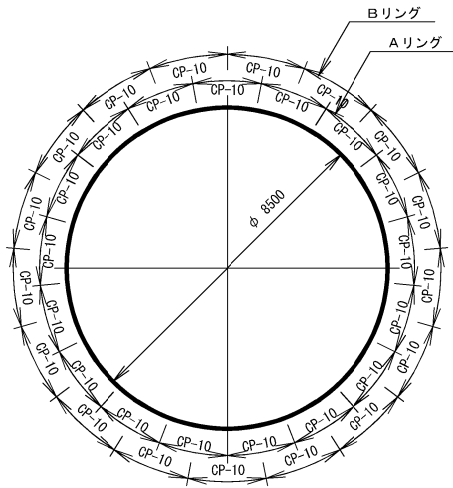
上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋 耐震補強一般図(その2)		
縮尺	1:400	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

[断面図]



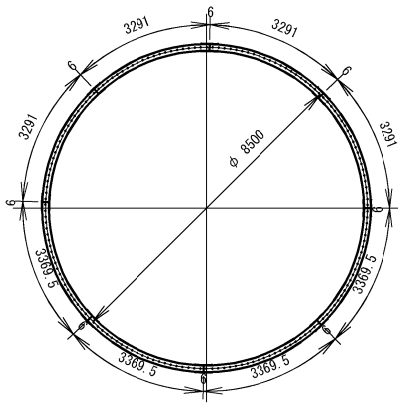
上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P 1・P 2 橋脚		
	構造物掘削図 特殊部 A－P 1・A－P 2		
縮 尺	1:400	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

ライナープレート平面割付図 S=1:200



補強リング割付図 S=1:200

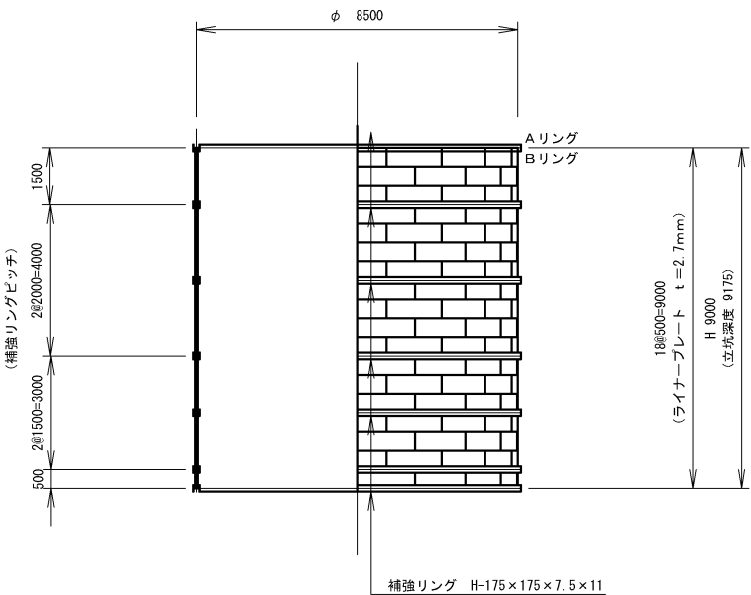
補強リング . . . 4H-175x175x7.5x11x3291
補強リング . . . 4H-175x175x7.5x11x3369.5



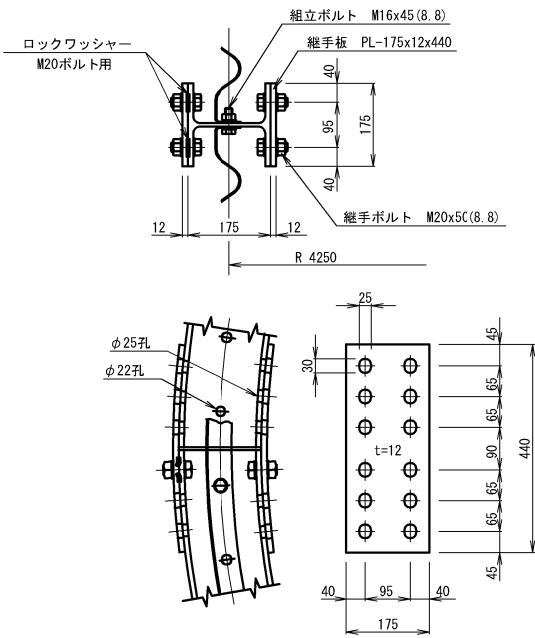
材料表

名 称	寸 法	単体質量 (kg)	数 量	質 量 (kg)	備 考
ライナープレート (t=2.7mm) . . . H=9.0m					
ライナープレート	SS330 2.7×500×1570 (CP-10)	26.0	306 枚	7956.0	黒皮, GH付
組立ボルト	M16×30 (4.6, LP用)	0.137	3264 本	447.2	
組立ボルト	M16×45 (8.8, HR用)	0.158	1190 本	188.0	
小計				8591.2 kg	
補強リング (H-175) . . . 7リング (継ぎ手部 8箇所/1リング)					
補強リング	SS400 H-175×175×7.5×11×3291	133.0	28 個	3724.0	黒皮, 旧構成
補強リング	SS400 H-175×175×7.5×11×3369.5	136.1	28 個	3810.8	黒皮, 旧構成
継手板	PL-175×12×440	7.25	112 枚	812.0	黒皮
継手ボルト	M20×50 (8.8)	0.275	1344 本	369.6	
ロックワッシャー	M20ボルト用	—	672 個	—	
小計				8716.4 kg	
合計				17307.6 kg	

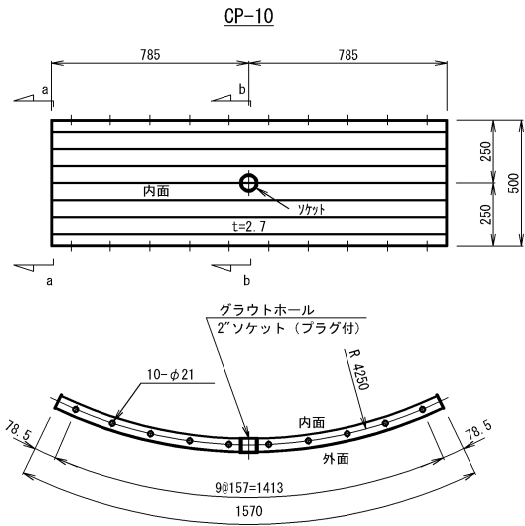
断面図、側面図 S=1:200



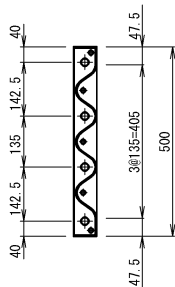
補強リング継手詳細図 S=1:16



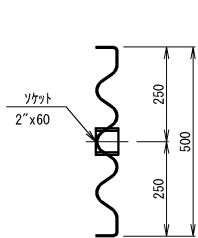
G H付ライナープレート詳細図 (内面視) S=1:30



a-a矢視 S=1:20

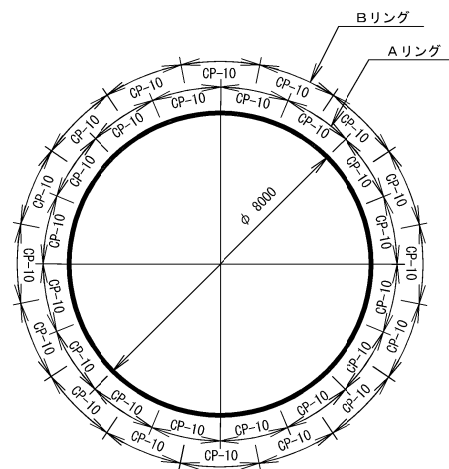


b-b矢視 S=1:20



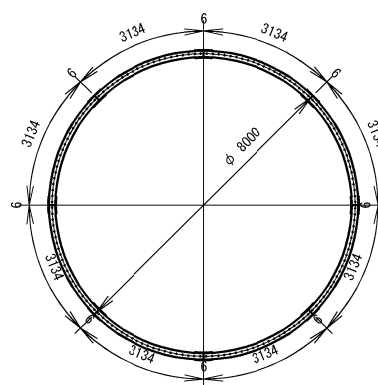
上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P 1 橋脚 構造物掘削図 特殊部 A－P 1		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

ライナープレート平面割付図 S=1:200

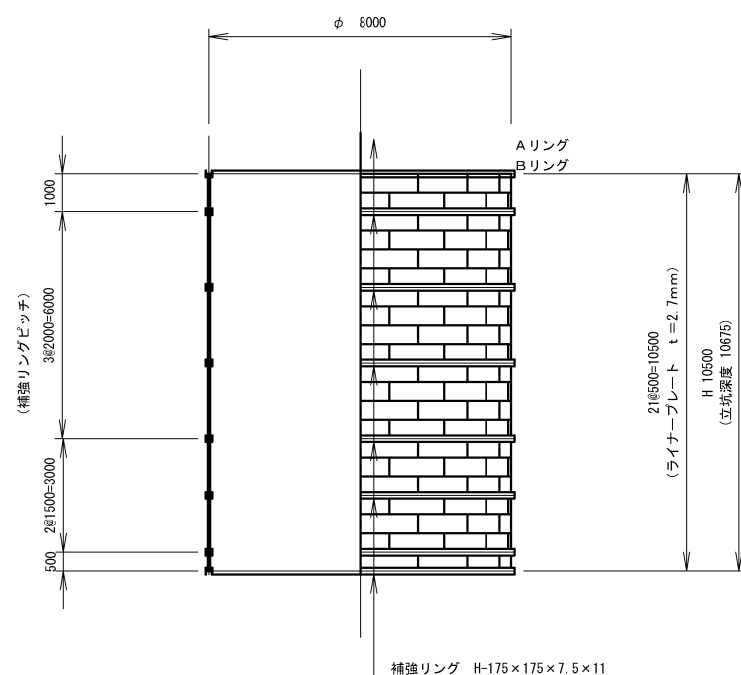


補強リング割付図 S=1:200

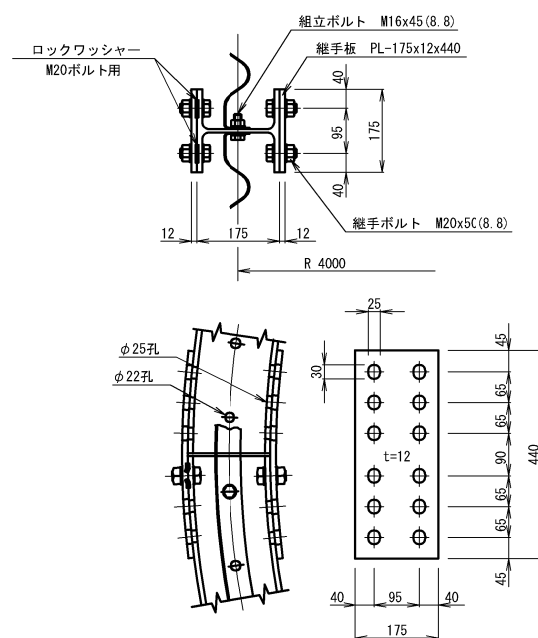
補強リング . . . 8H-175x175x7.5x11x3134



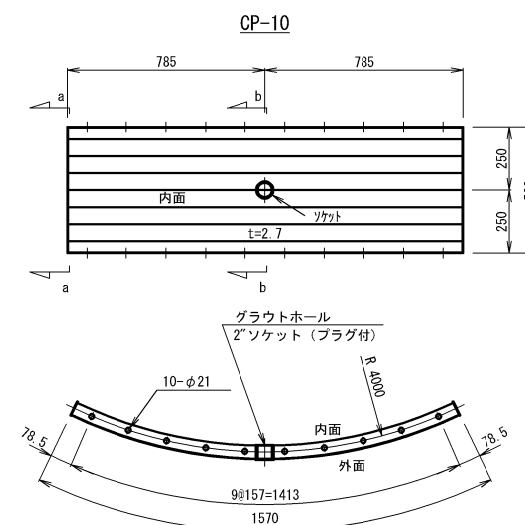
断面図、側面図 S=1:200



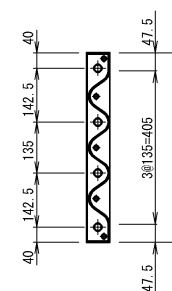
補強リング継手詳細図 S=1:16



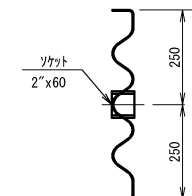
GH付ライナープレート詳細図（内面視） S=1:30



a-a矢視 S=1:20

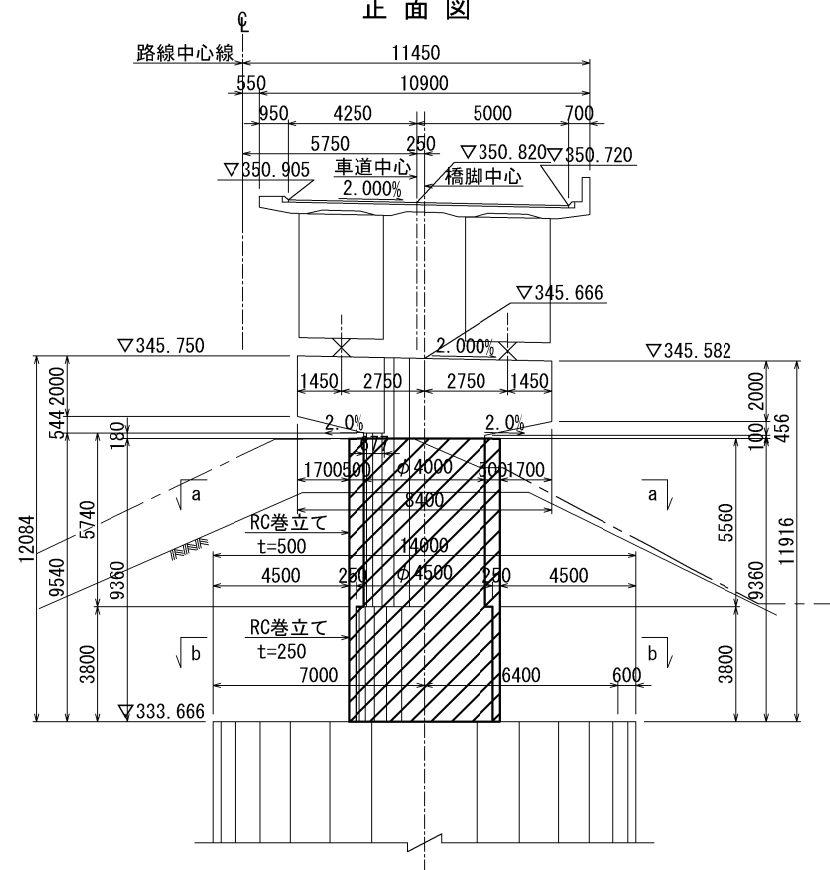


b-b矢視 S=1:20

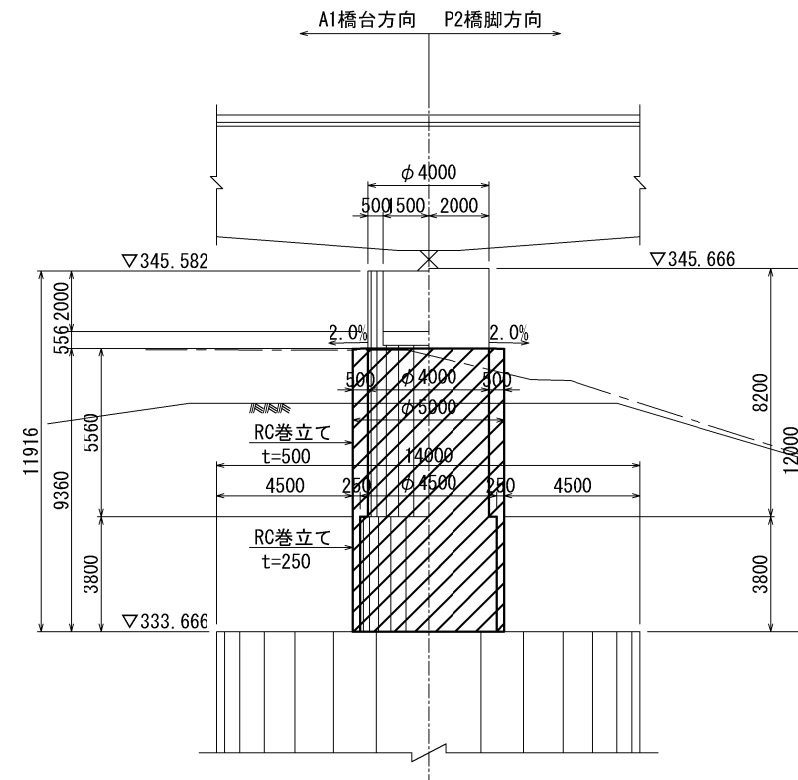


上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 梁 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P2脚側 構造物掘削図 特殊部 A-P2		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 所		関東支社 事 務 所

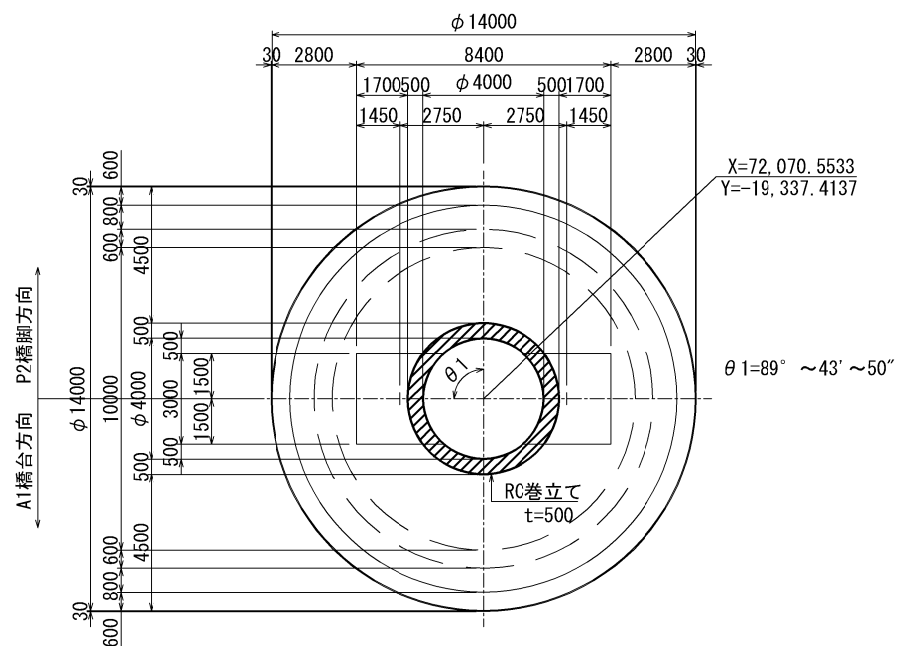
正面図



側面図

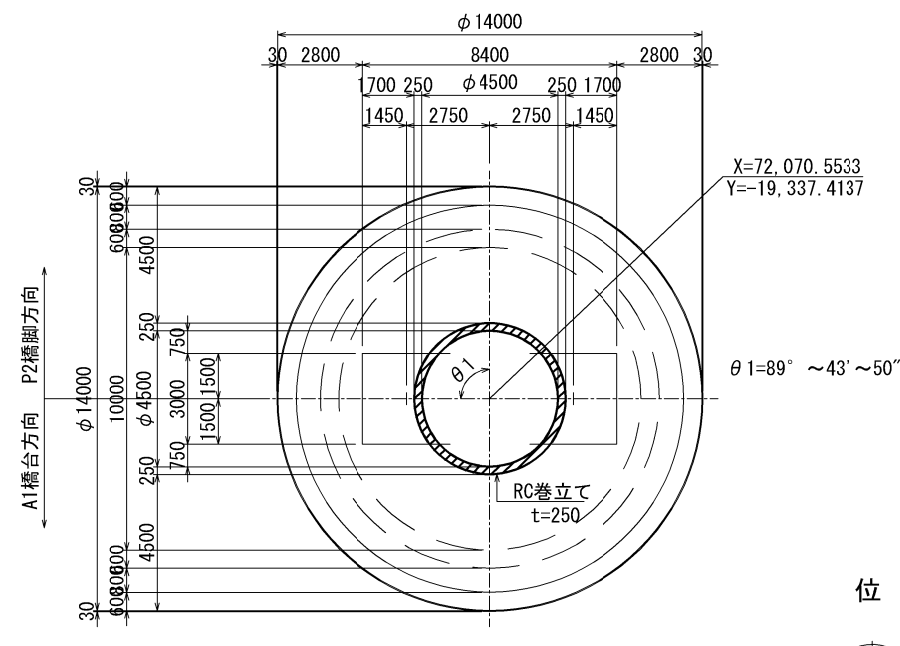


平面图

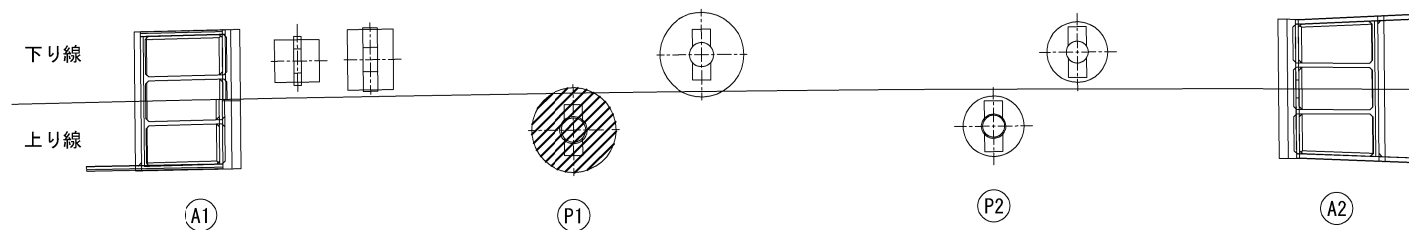
$$a - a$$


平面图

b - b



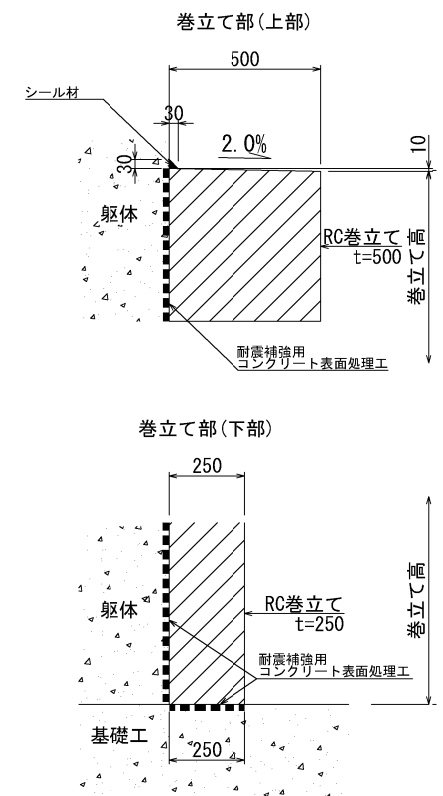
位置図



使用材料

工 種		仕 様
既設部	コンクリート	240kg/cm ³
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリートA1-5	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

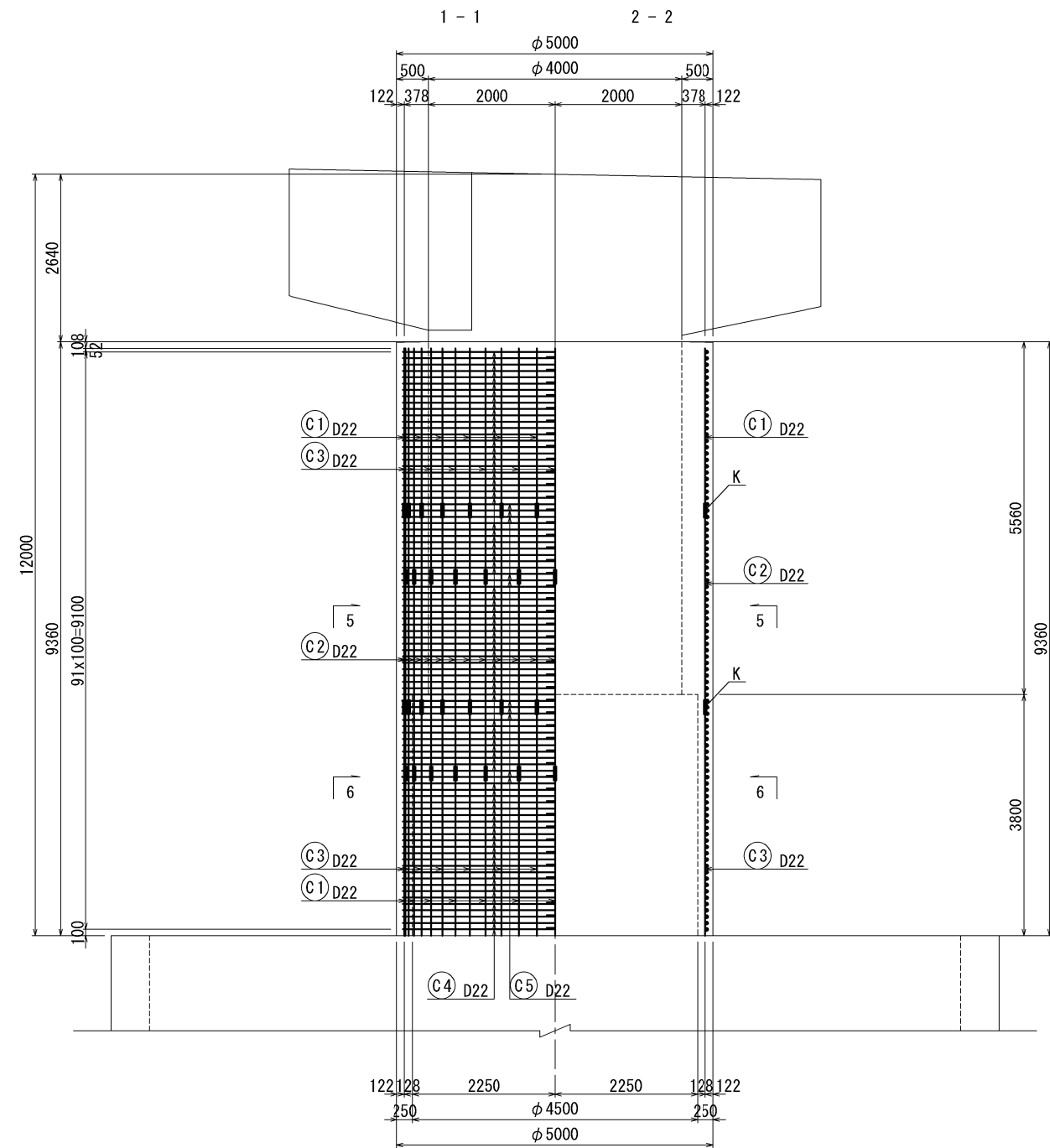
巻立て部詳細図 S=1:25



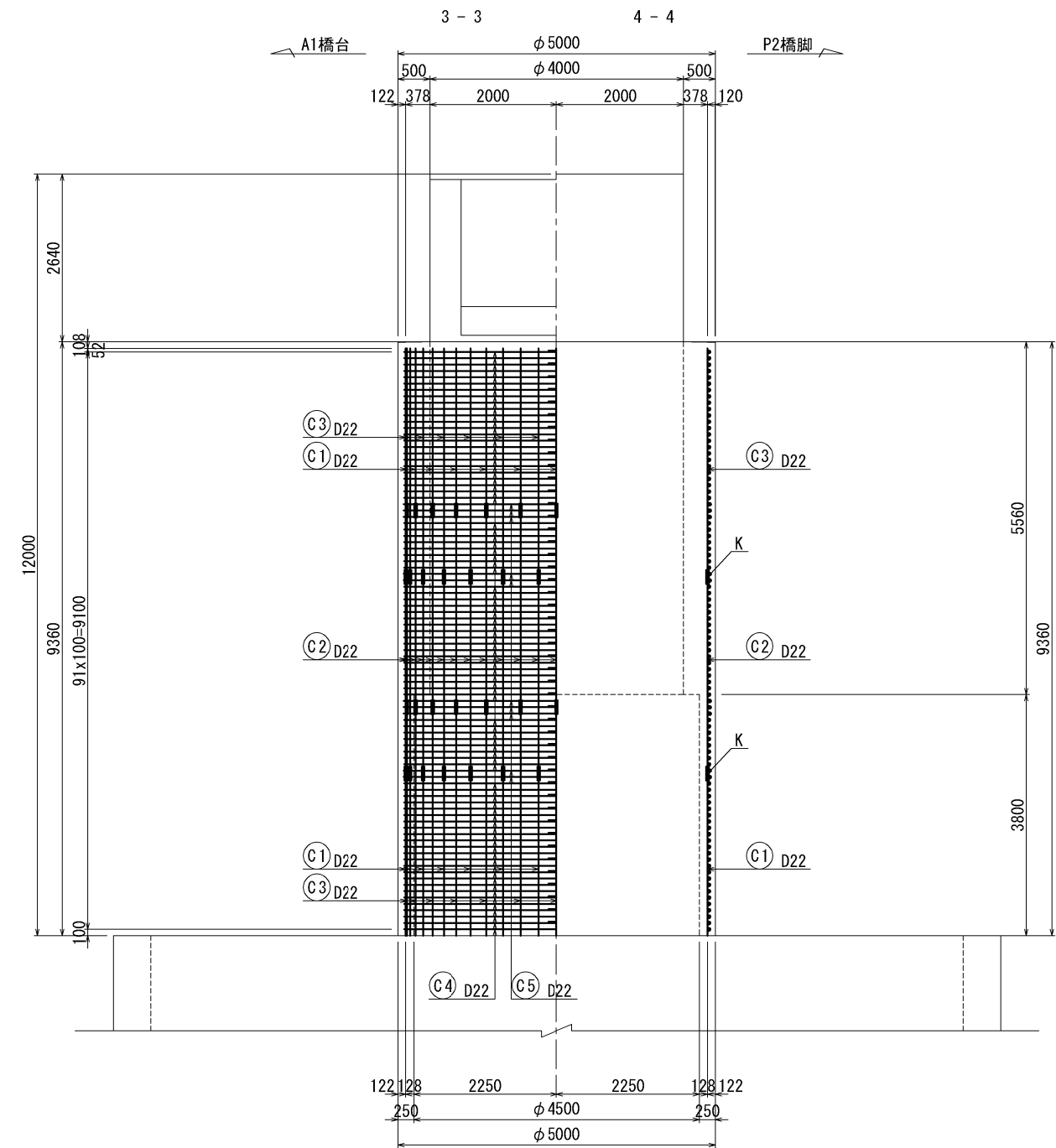
- 注記) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカ一定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。

上 信 遠 自 動 車 道	
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	百々川橋(上り線) P1 測脚 R C巻立て 一般図
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 審 査 所

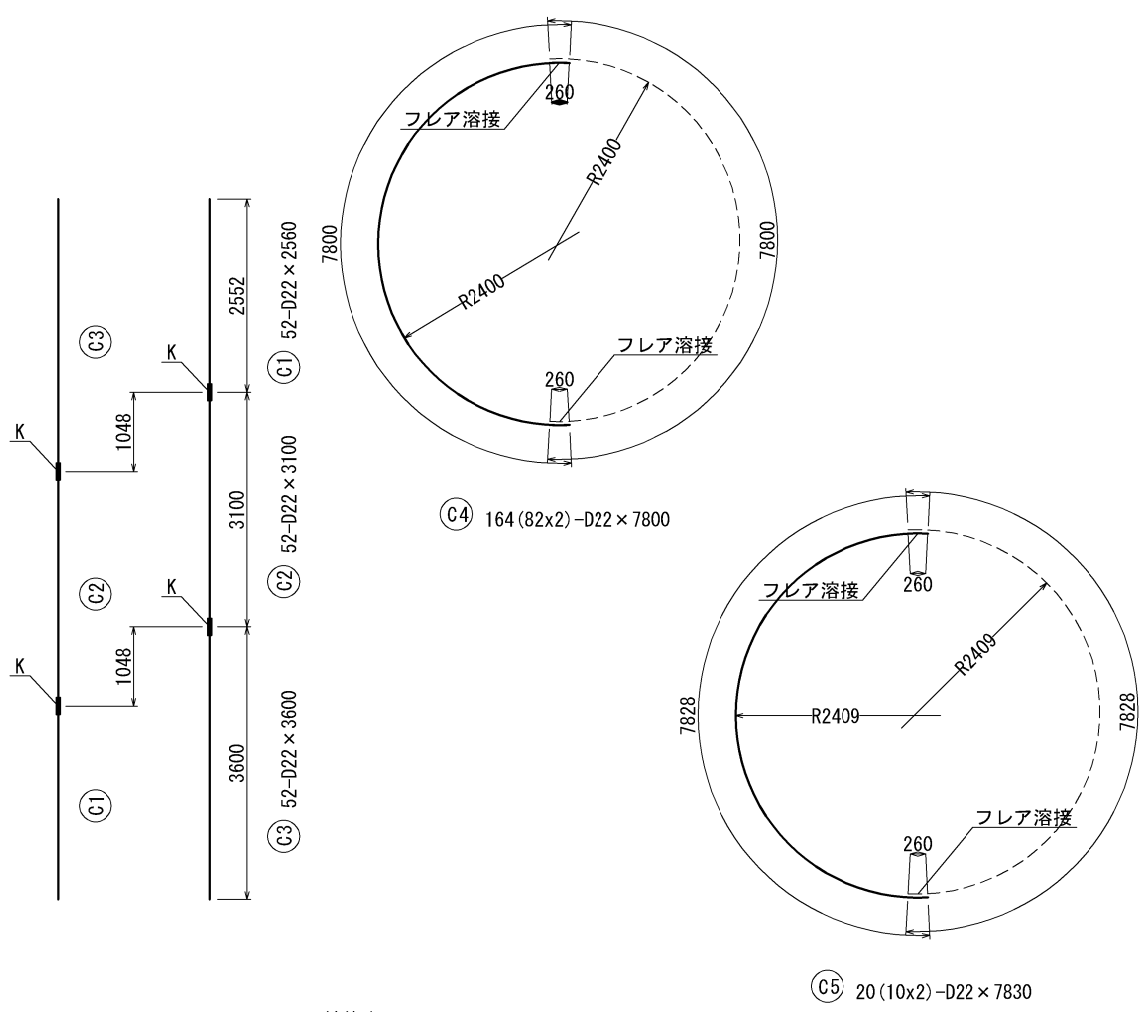
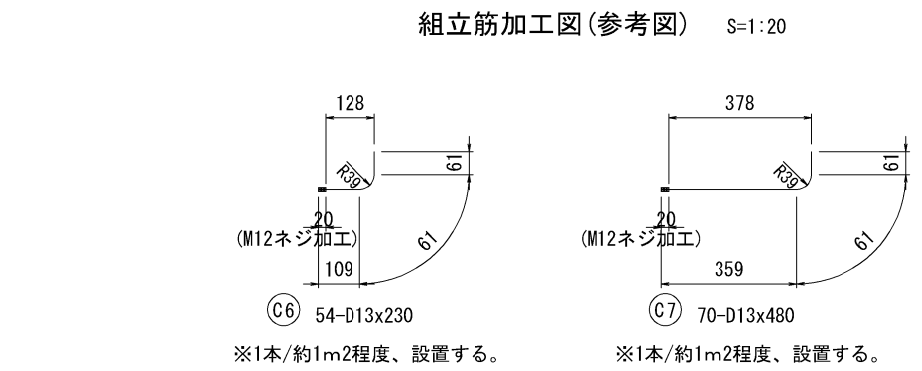
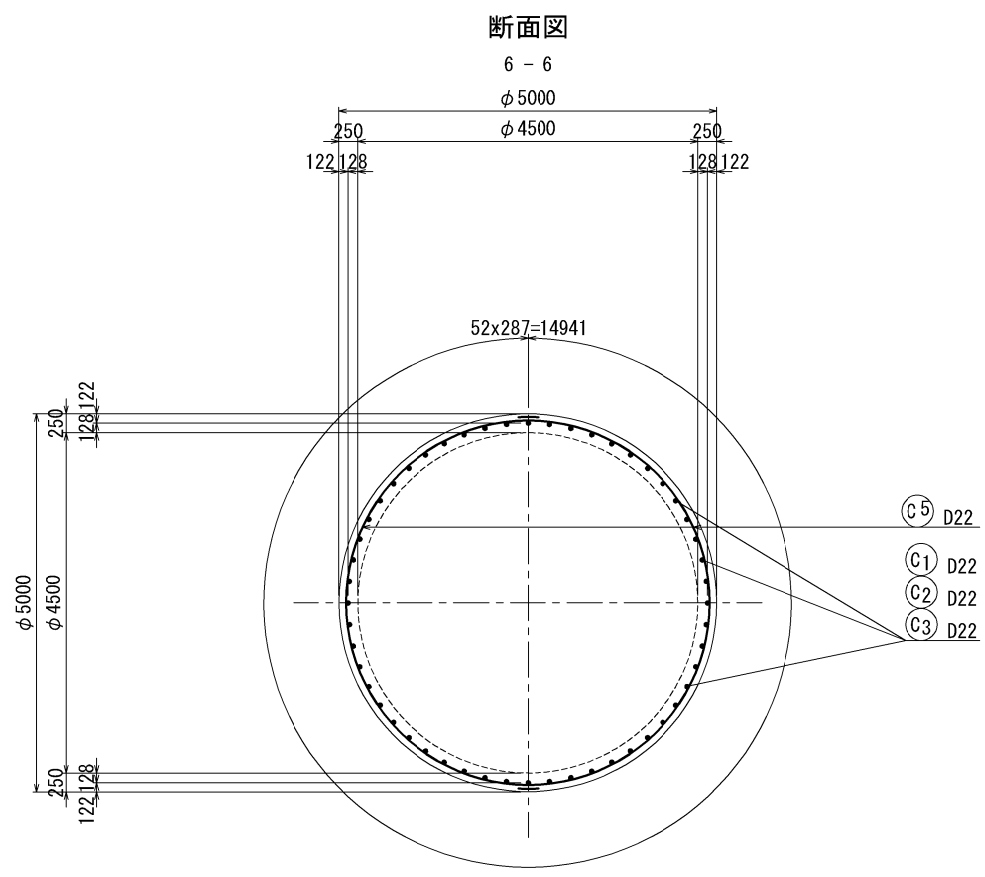
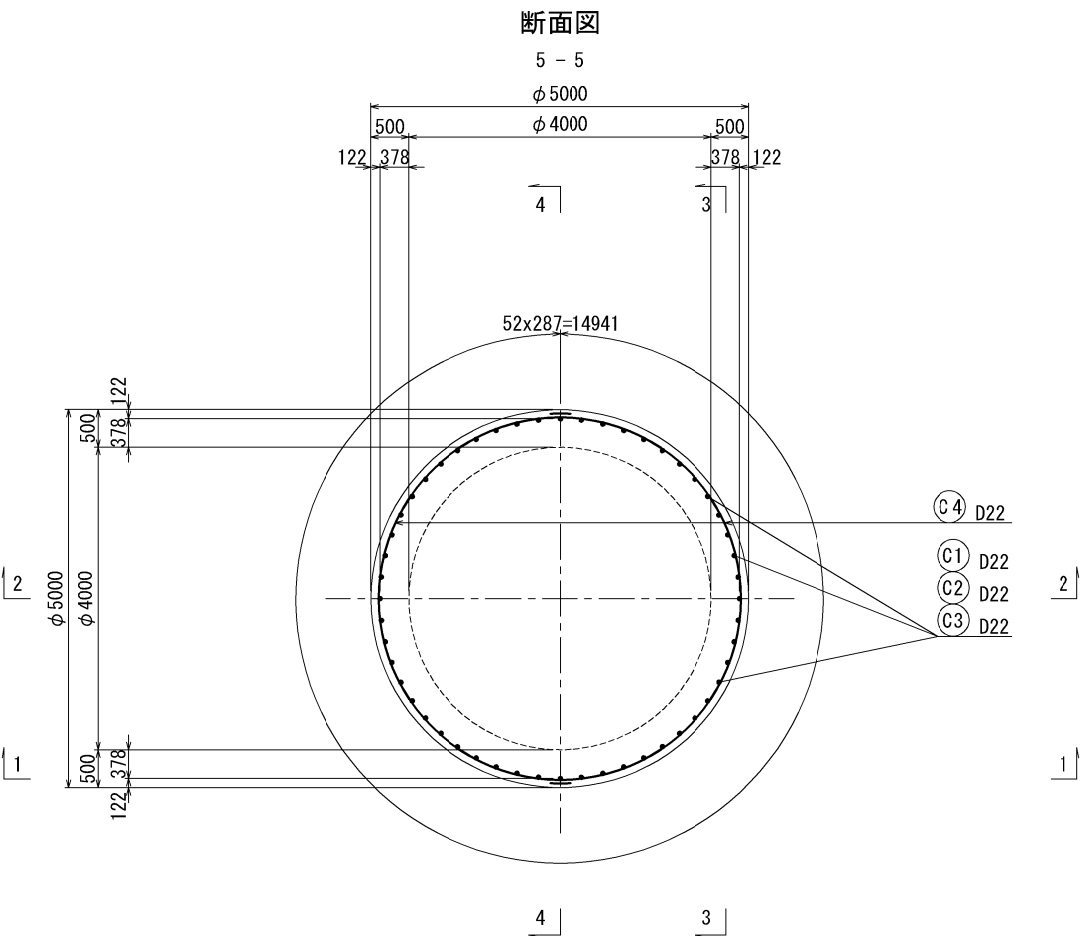
正面図



側面図

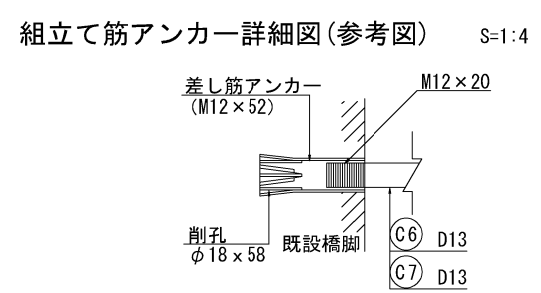
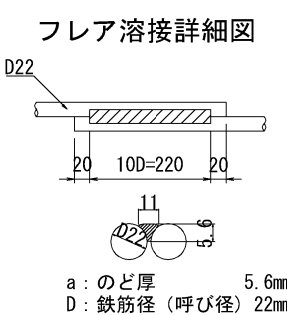
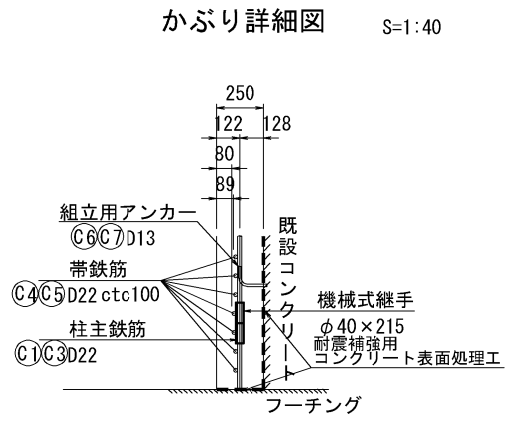


上 信 透 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P1 養脚 RC巻立て 配筋図(その1)		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 間東支社 長 野 工 事 事 務 所		



鉄筋表

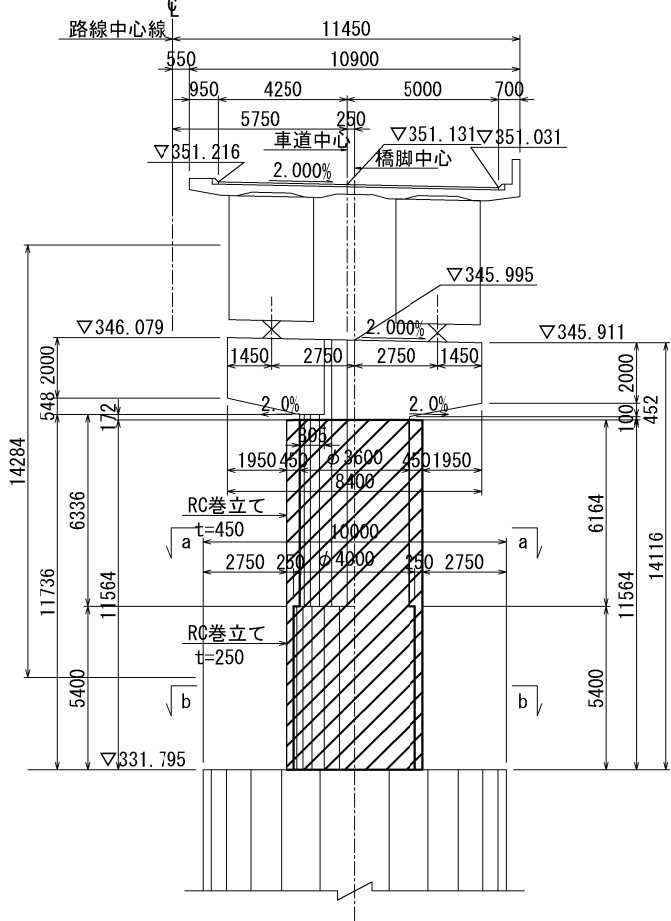
記 号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘 要
C1	D22	2560	52	3.04	7.78	405	——
C2	D22	3100	52	3.04	9.42	490	——
C3	D22	3600	52	3.04	10.9	567	——
C4	D22	7800	164	3.04	23.7	3.887	C (164)
C5	D22	7830	20	3.04	23.8	476	C (20)
フレア箇所 機械式継手							
	D22	5,825 kg	(184)	(104)	SD345		
	合計	5,825 kg	(184)	(104)	SD345		
フレア溶接 (D22)					184 箇所		
機械式継手 (D22)					104 箇所		



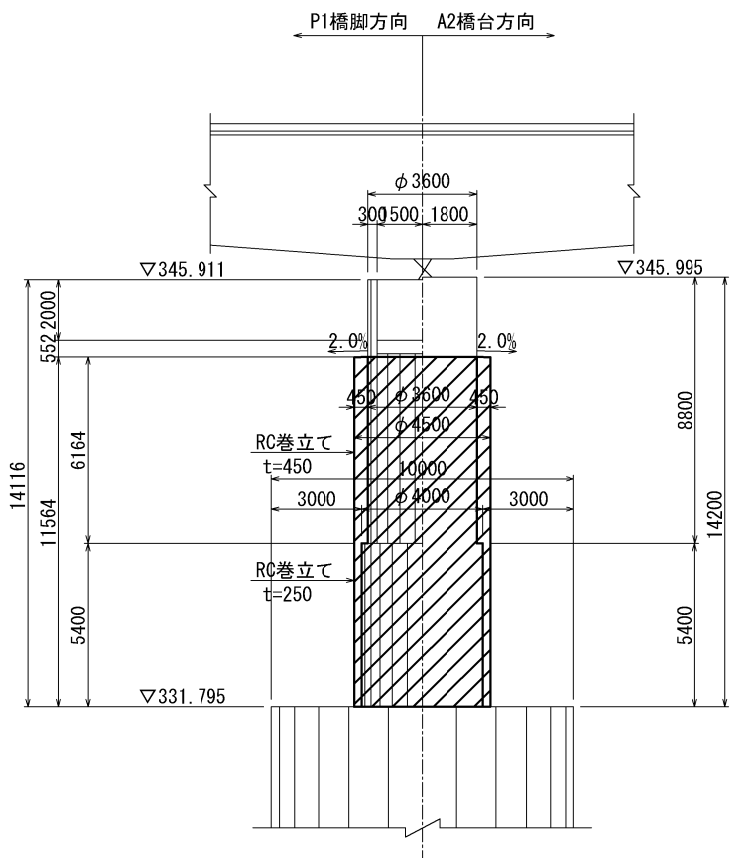
- 注記) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. は、機械式継手位置を示す。

上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P 1 橋脚 R C巻立て 配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

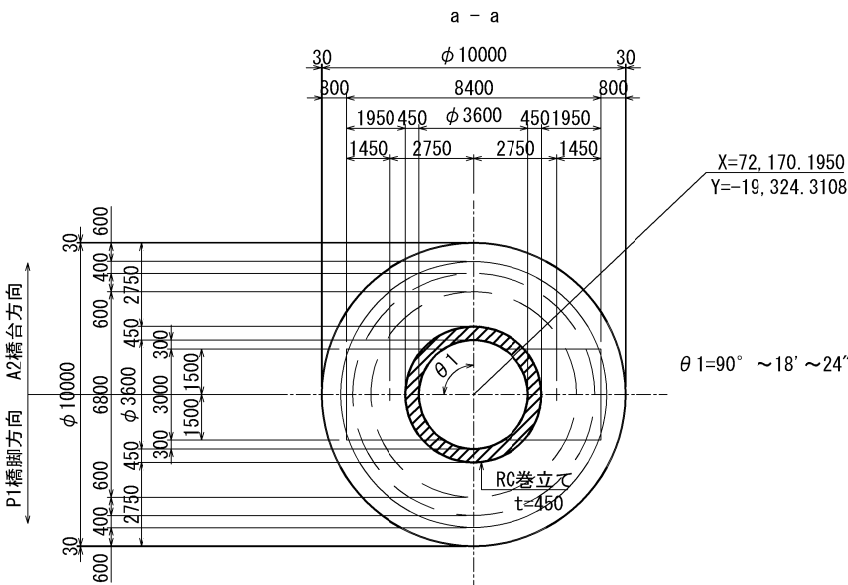
正面図



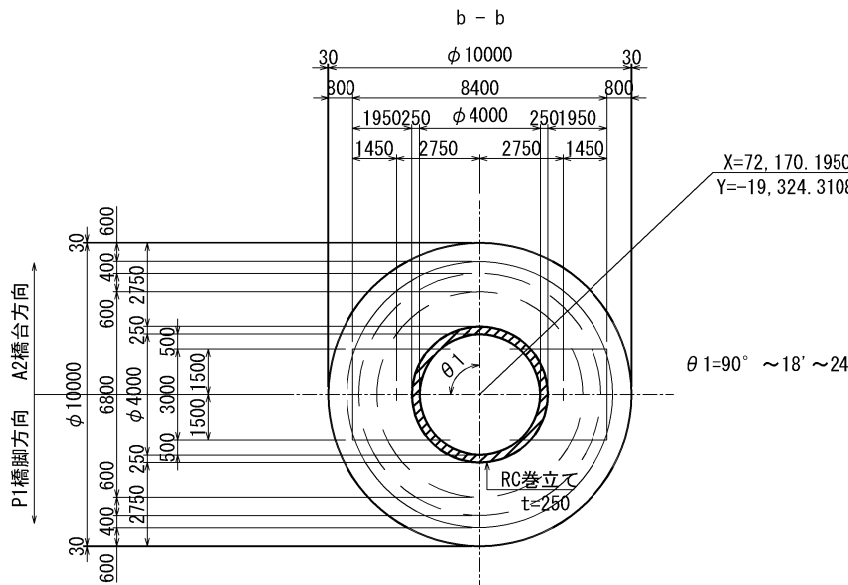
側面図



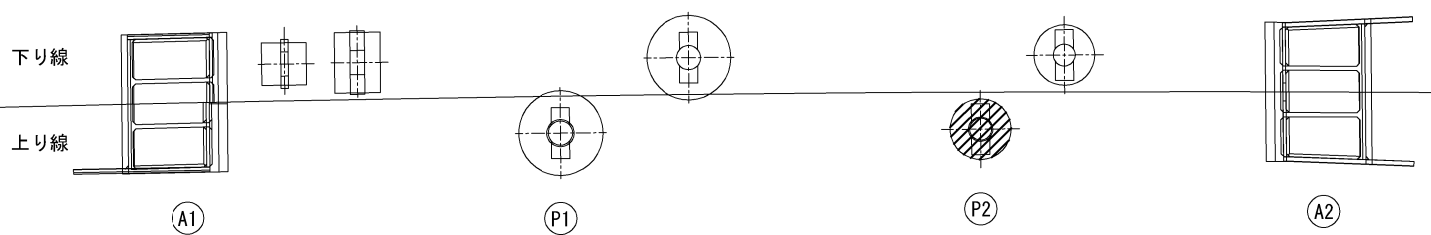
平面図



平面図



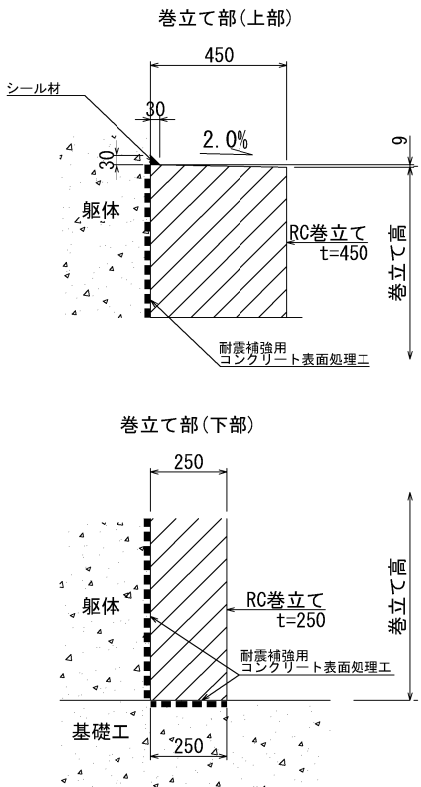
位置図



使用材料

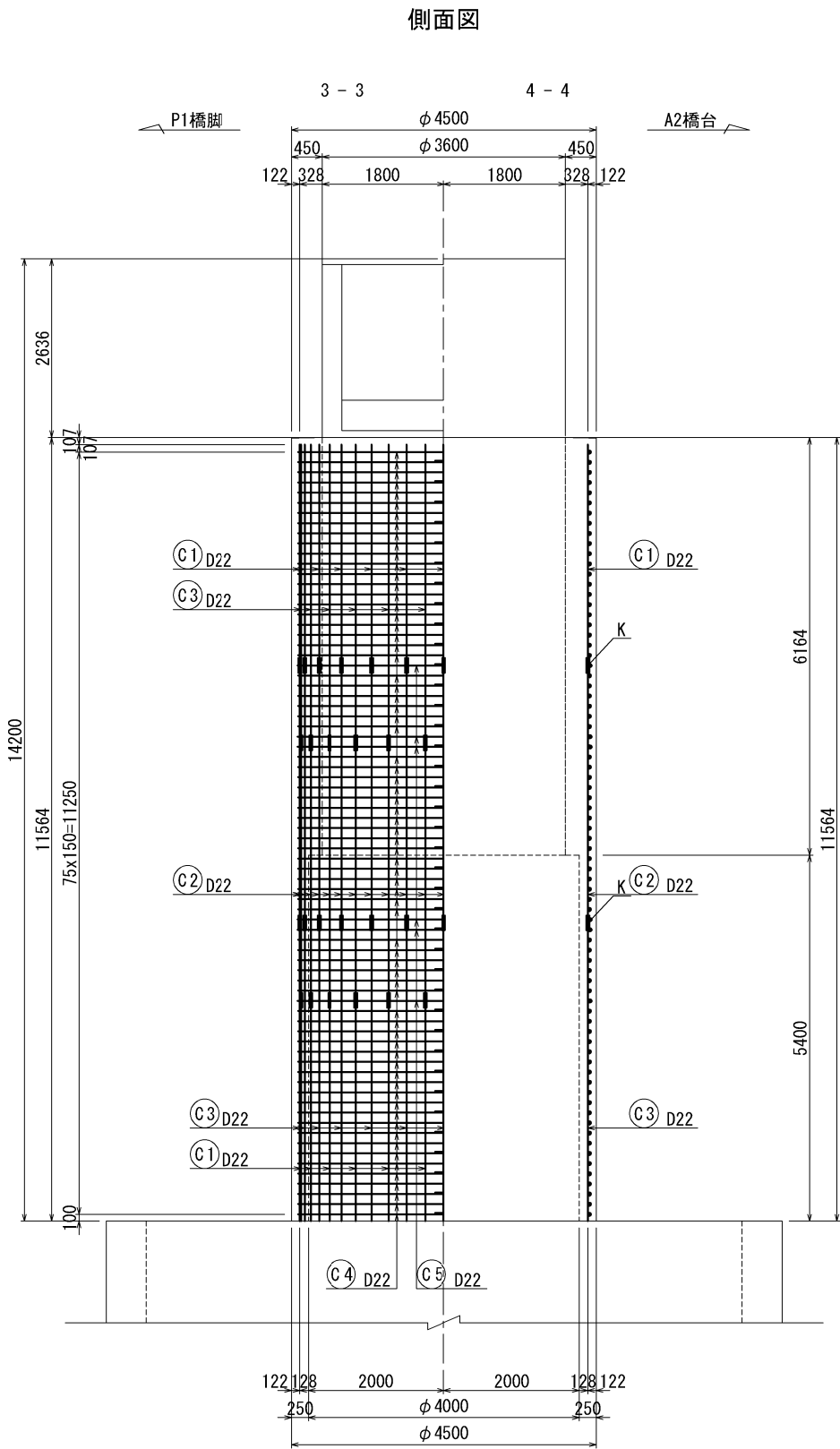
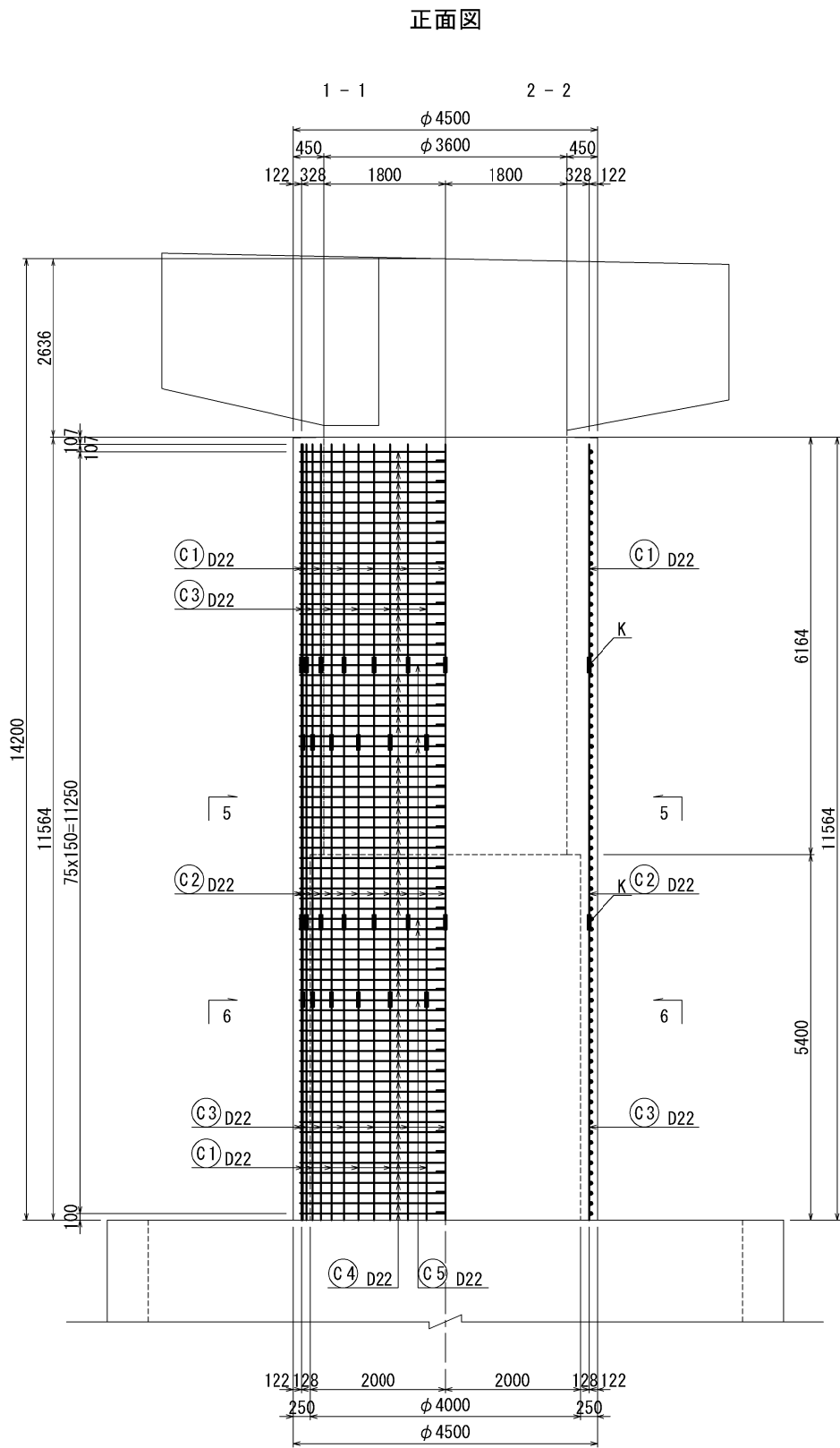
工種	仕様
既設部	コンクリート 240kg/cm ³
鉄筋	SD345
補強部	コンクリートA1-5 30 N/mm ²
鉄筋	SD345

巻立て部詳細図 S=1:25



- 注記) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー一定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。

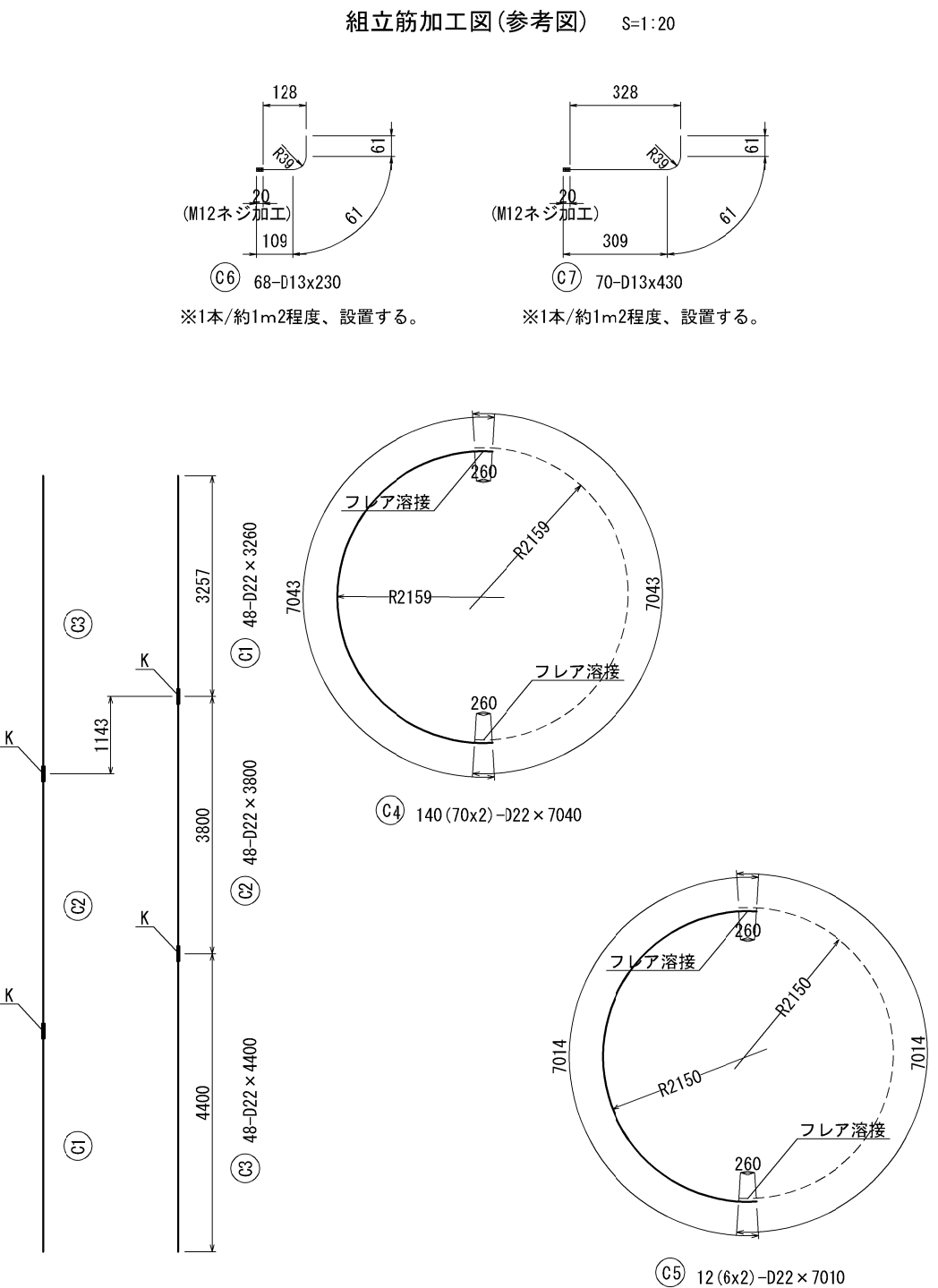
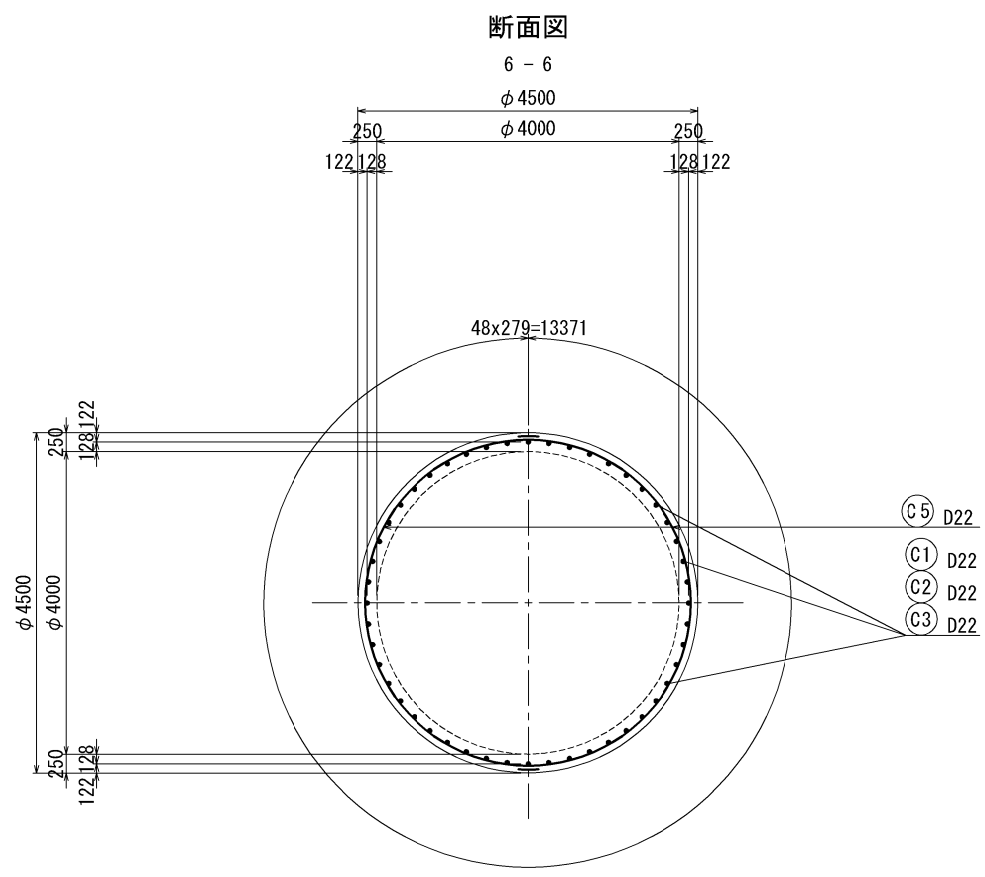
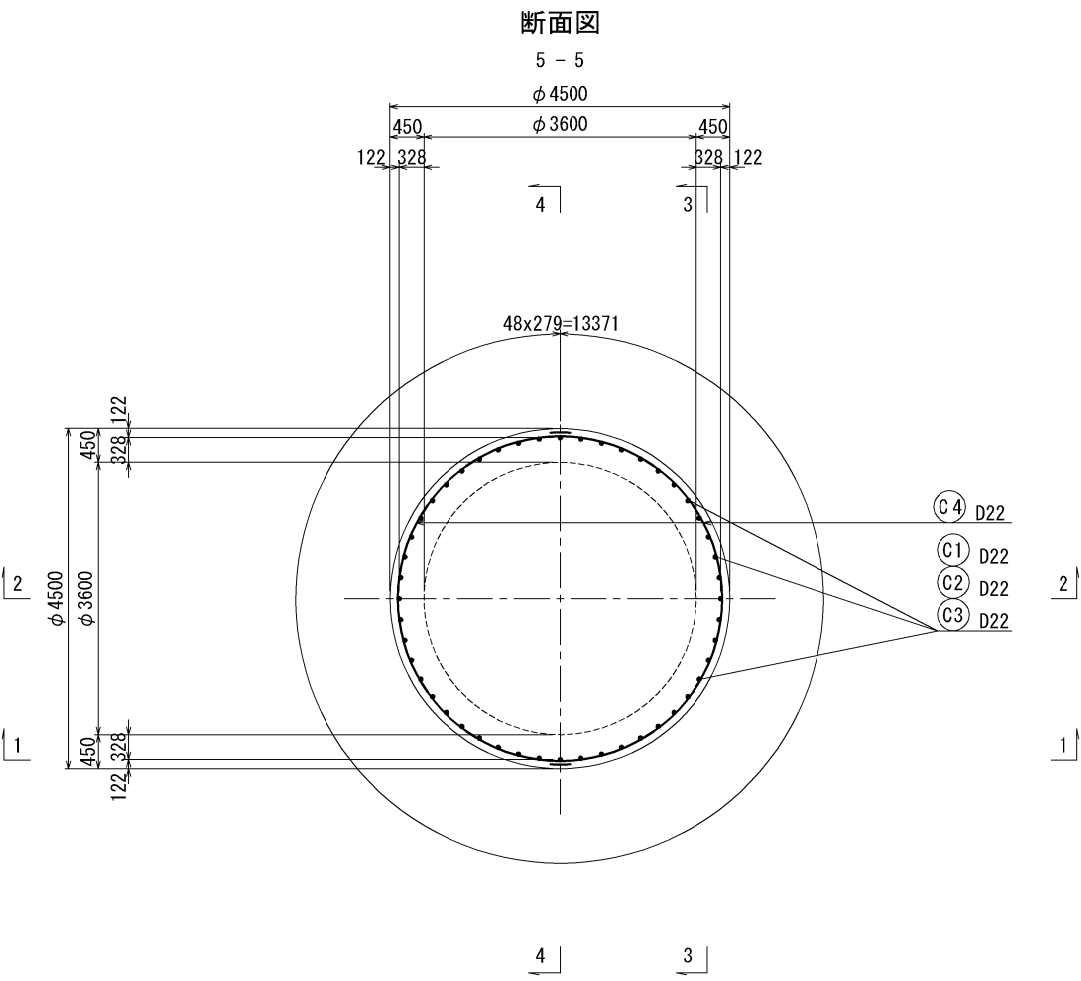
上信越自動車道			
豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P2橋脚 RC巻立て 一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



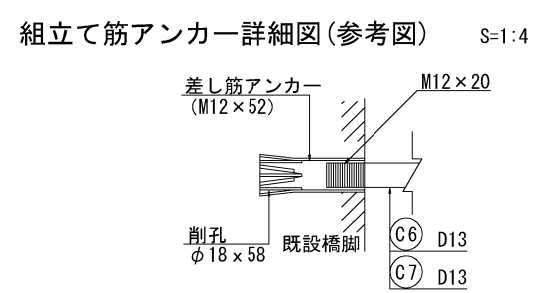
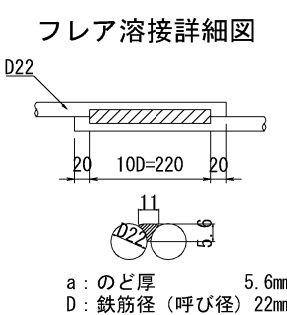
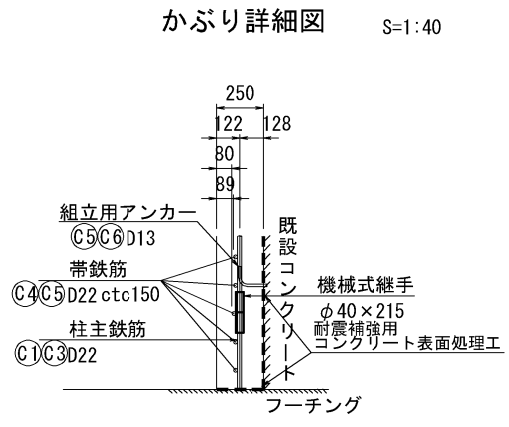
注記)

1. K は、機械式継手位置を示す。

上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P 2 橋脚		
	R C 巻立て 配筋図(その 1)		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野 工 事 事 務 所		



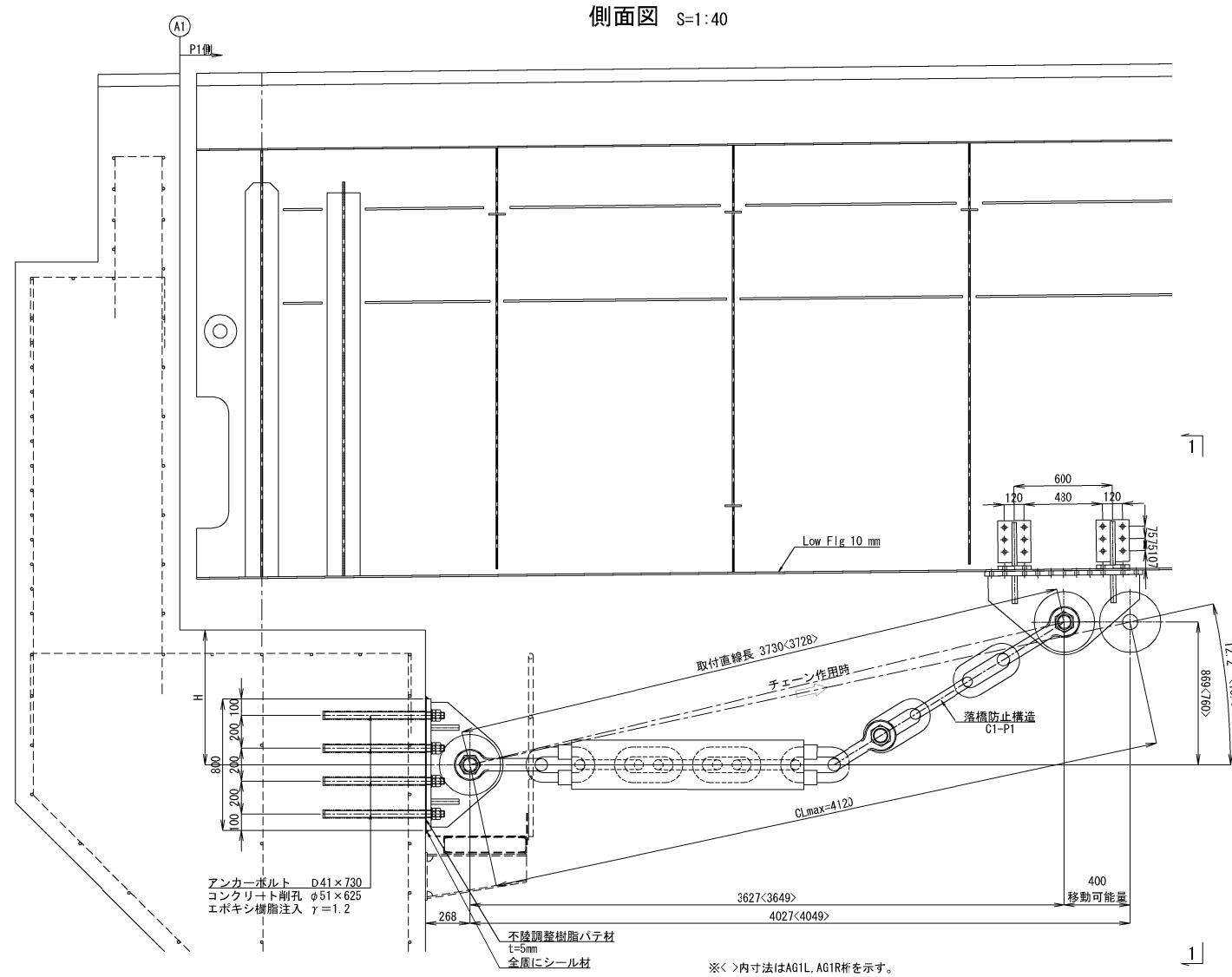
鉄筋表							
記 号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘 要
C1	D22	3260	48	3.04	9.91	476	――
C2	D22	3800	48	3.04	11.6	557	――
C3	D22	4400	48	3.04	13.4	643	――
C4	D22	7040	140	3.04	21.4	2,996	C (140)
C5	D22	7010	12	3.04	21.3	256	C (12)
フレア箇所 機械式継手							
	D22	4,928 kg	(152)	(96)	SD345		
	合計	4,928 kg	(152)	(96)	SD345		
フレア溶接 (D22)					152 箇所		
機械式継手 (D22)					96 箇所		



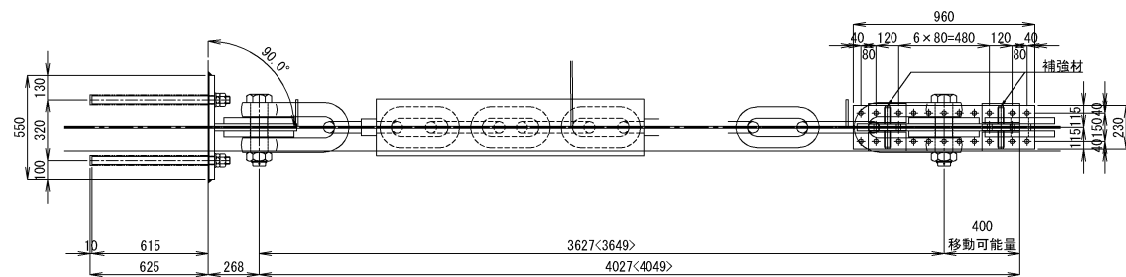
- 注記) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー一定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. は、機械式継手位置を示す。

上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋(上り線) P 2 橋脚 R C 巻立て 配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

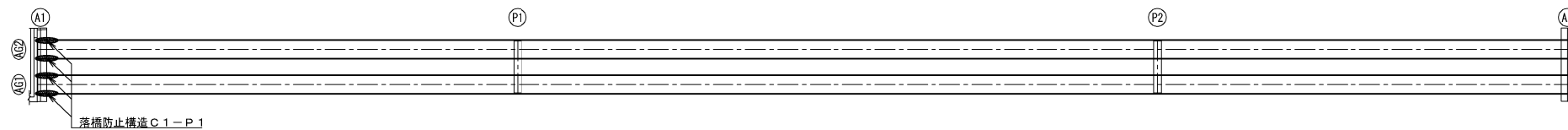
[取付図]



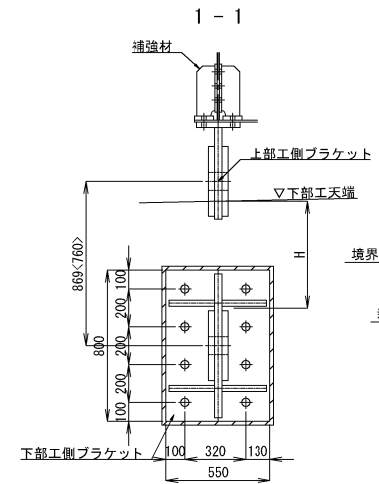
平面图 S=1:40



位置図



断面図 S=1:40

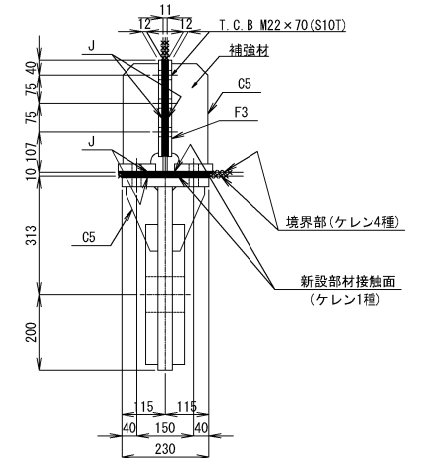
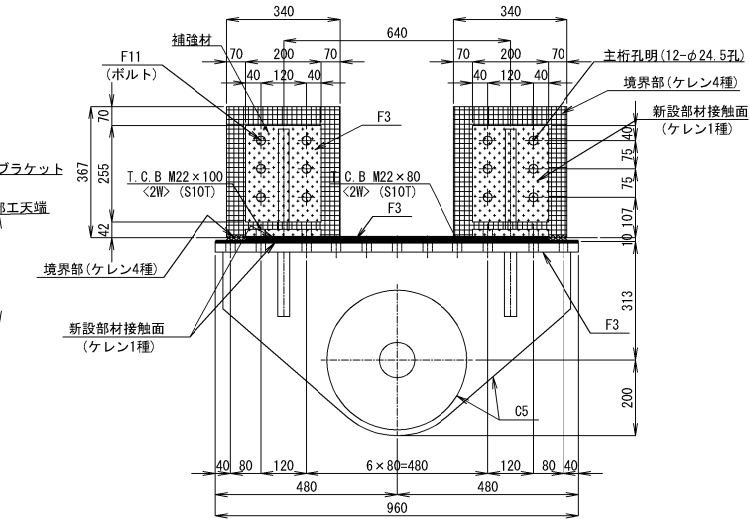


	AG1R	AG1L	AG2R	AG2L
H	655	711	765	821

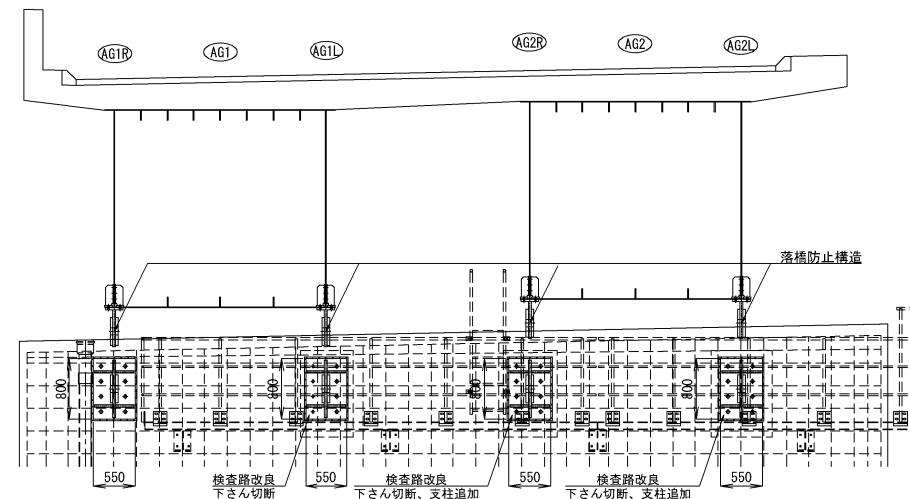
ケレン区分の凡例

	新設部材接触面(ケレン1種)
	熱影響部(ケレン1種) ・・・塗膜除去
	境界部(ケレン4種) ・・・各部材の現場塗装

緩衝チェーン取付詳細図 S=1:20



正面图 S=1:100



落橋防止構造 設計条件

項 目	単 位	数 量
死荷重反力	kN	3757
設計水平力	kN	5636
1本当たりの引張力	kN/本	1442
設計移動量	mm	400

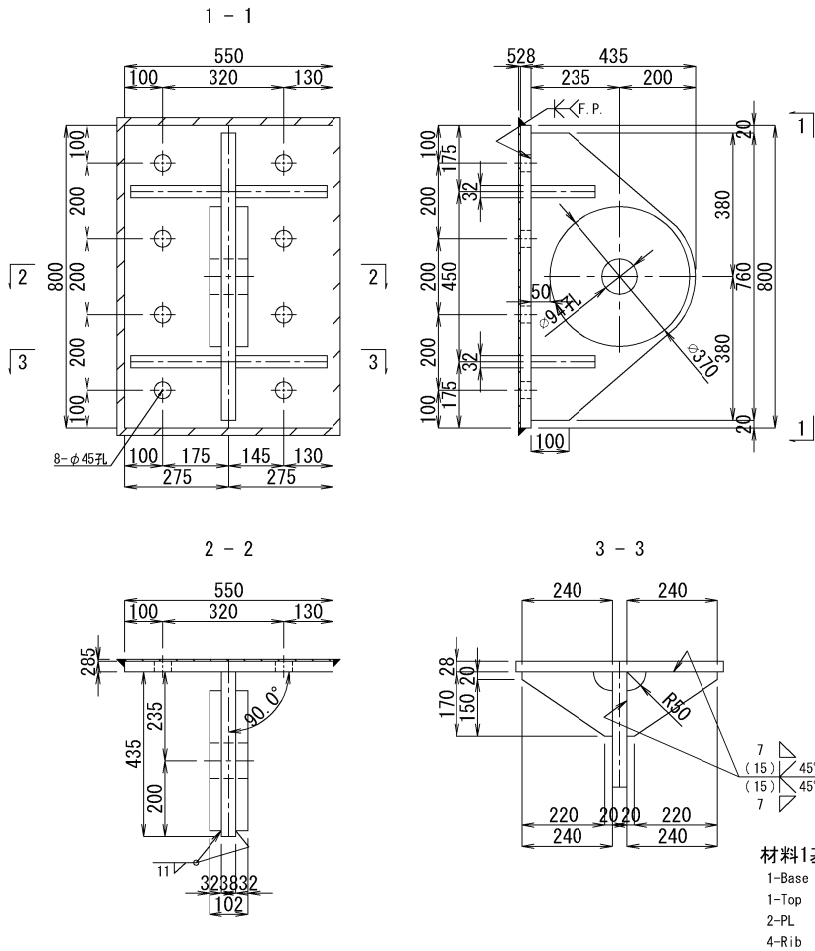
(注記)

- 1) 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
- 2) アンカー削孔は、RCレーダー等による鉄筋探査を行い、事前に鉄筋位置を確認の上行うこと。
- 3) アンカー削孔の際には、鉄筋を損傷させないよう慎重に行うこと。
- 4) アンカー削孔の位置を変更する際は、鉄筋のあきやかぶりが適切に確保できているかを確認の上施工すること。
- 5) アンカー定着長は既設躯体より15D(D:アンカー径)以上を確保すること。

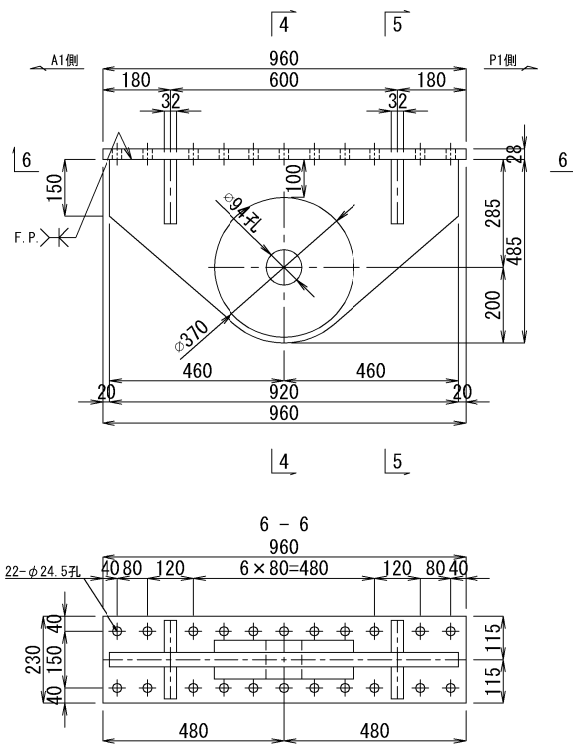
上 信 彦 自 動 車 道	
豊 田 高 架 梁 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	百々川橋 A1橋台 落橋防止構造 C1ーA1 構造図(その1)
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野 野 市 事 務 所

[詳細図]

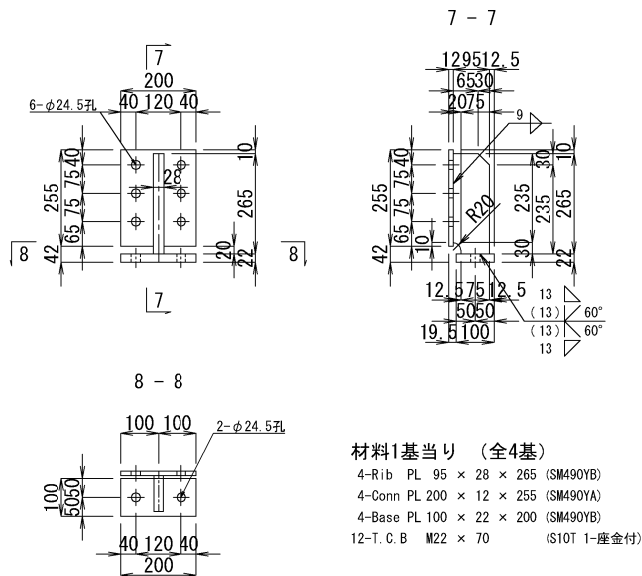
下部エブラケット詳細図 S=1:20



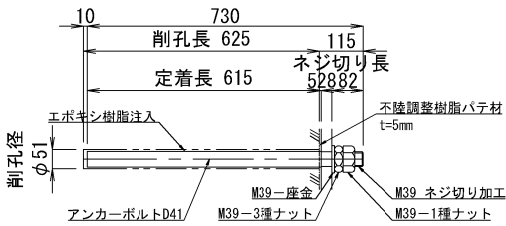
上部エブラケット詳細図 S=1:20



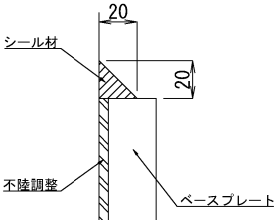
補強材 S=1:20



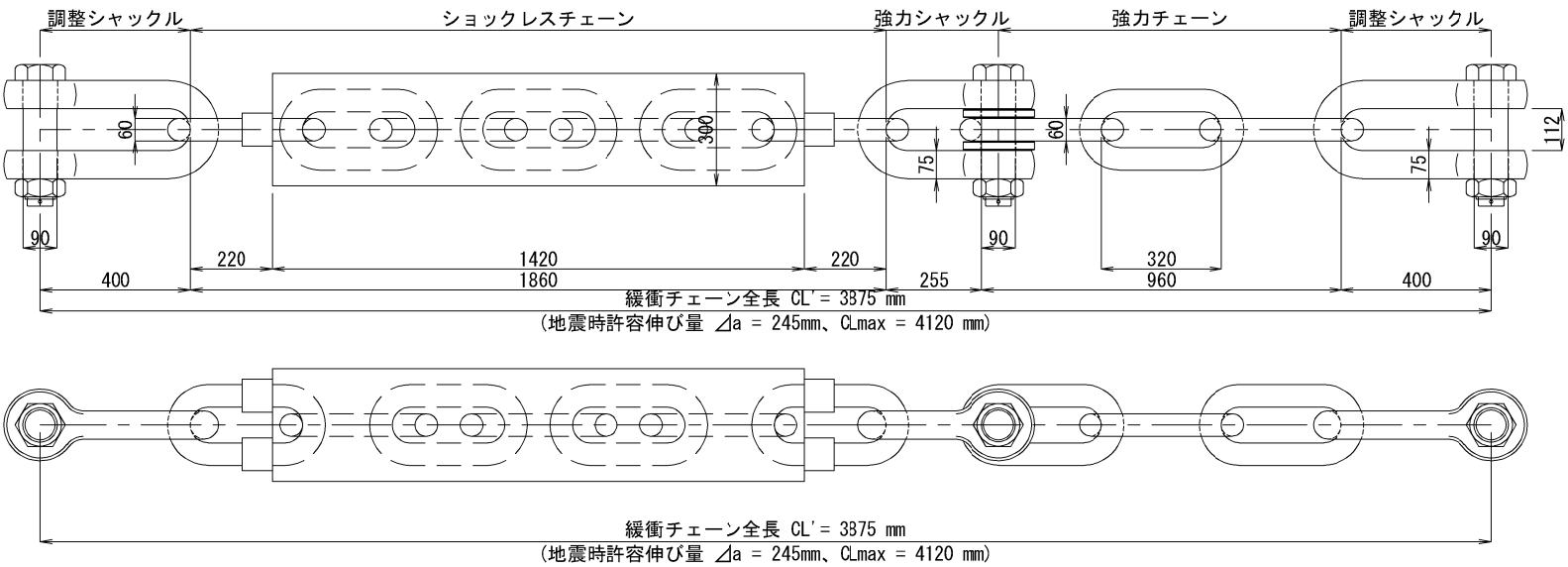
下部アンカーボルト詳細図 S=1:20



シール材詳細図 S=1:4



緩衝チェーン 10型(1545kN) 3リンク<参考図> S=1:20



材 料 表 (落橋防止構造1本当たり)

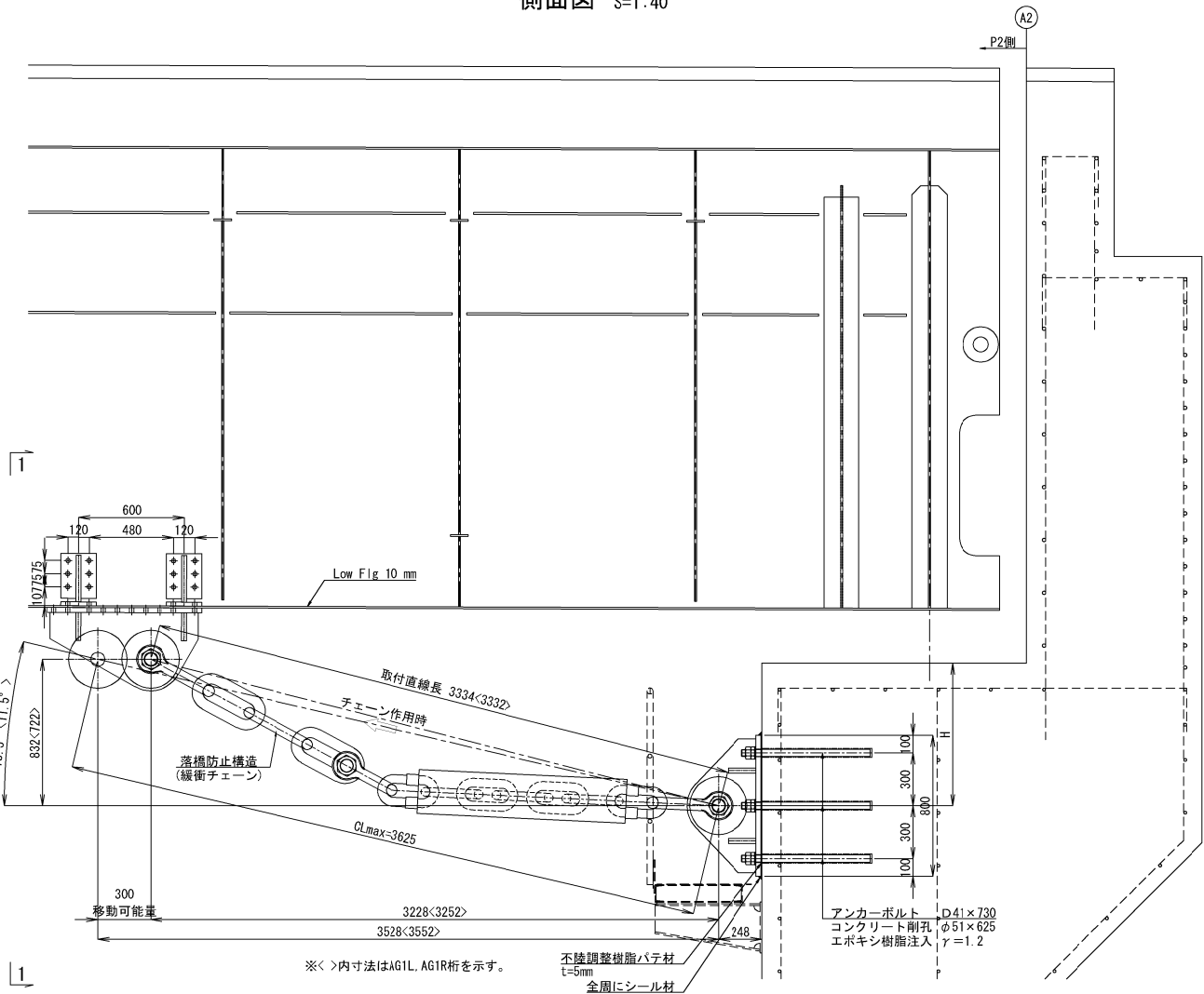
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ショックレスチェーン	1545kN	本	1	SCM420H
強力チェーン	1545kN	個	3	SCM420H
強力シャックル	1545kN	個	1	SCM435又はSCM435H
調整シャックル	1545kN	個	2	SCM435又はSCM435H

- 注記)
- 1) ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - 2) 補強材は、左右対称のため製作時に留意すること。
 - 3) 下部工側ブラケット及びアンカーボルト埋め込み部を除いた部分を、下記の通りの溶融垂鉛めっきとする。
HDZ777 鋼 板
HDZ749 アンカーボルト
 - 4) 上部エブラケット・補強材は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 5) 「F.P.」表記のある箇所は完全溶け込み溶接を用いる。

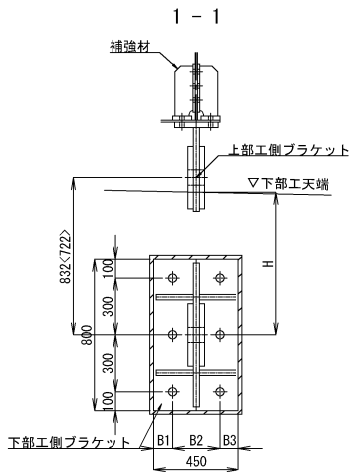
上 信 速 自 動 車 道	
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	百々川橋 A 1橋台 落橋防止構造C 1ーP 1 構造図(その2)
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所

[取付図]

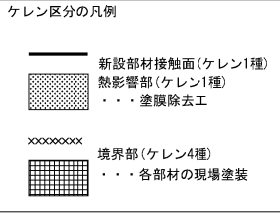
側面図 S=1:40



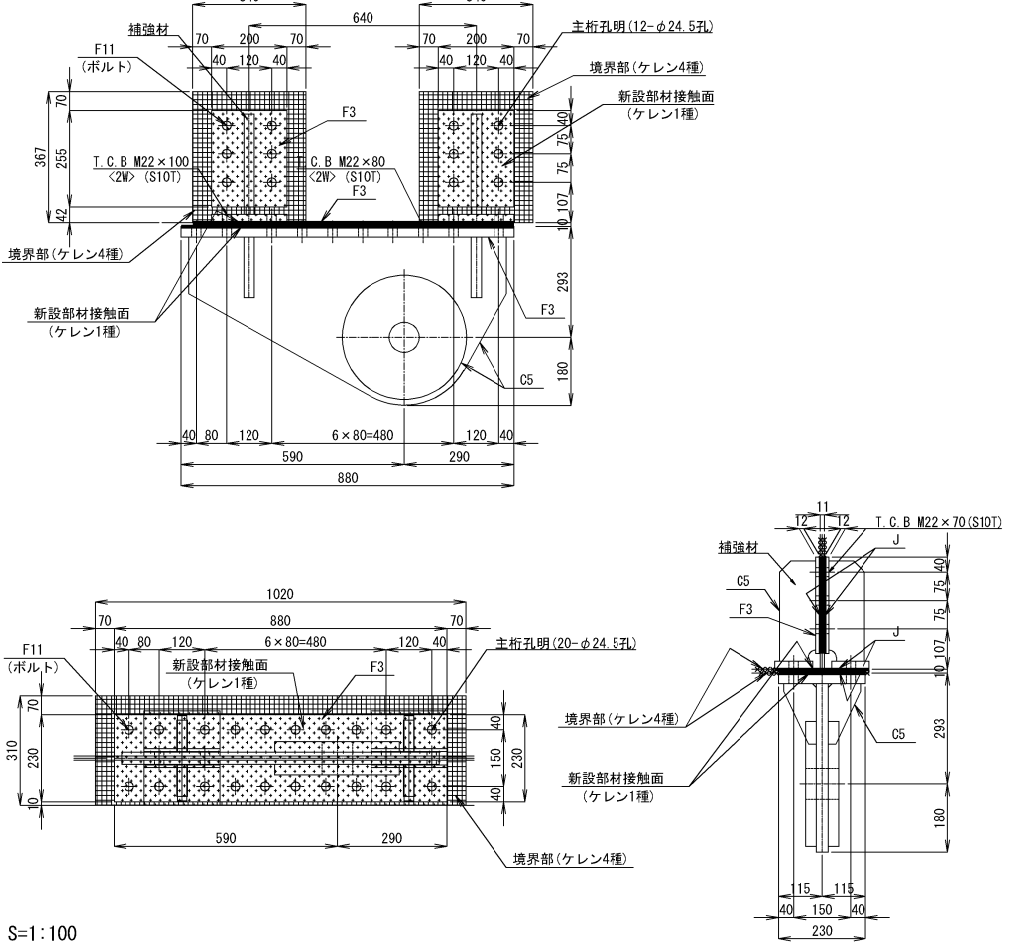
断面図 S=1:40



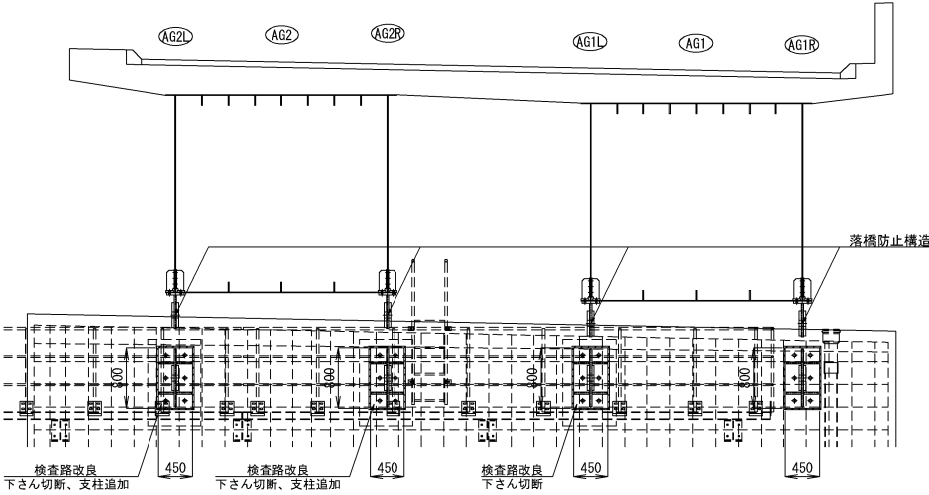
	AG1R	AG1L	AG2R	AG2L
B1	100	120	120	100
B2	250	210	210	250
B3	100	120	120	100
H	644	700	754	810



緩衝チェーン取付詳細図 S=1:20



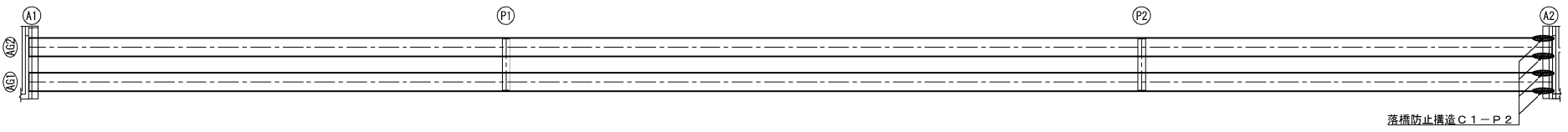
正面図 S=1:100



項 目	単 位	数 量
死荷重反力	kN	3339
設計水平力	kN	5009
1本当たりの引張力	kN/本	1287
設計移動量	mm	300

- 注記
- 1) 現地実測の上、寸法の決定を行うこと。
 - 2) アンカー削孔は、RCレーダー等による鉄筋探索を行い、事前に鉄筋位置を確認の上行うこと。
 - 3) アンカー削孔の際には、鉄筋を損傷させないよう慎重に行うこと。
 - 4) アンカー削孔の位置を変更する際は、鉄筋のあきやかかりが適切に確保できているかを確認の上施工すること。
 - 5) アンカー一定着長は既設躯体より15d (d:アンカー径) 以上を確保すること。

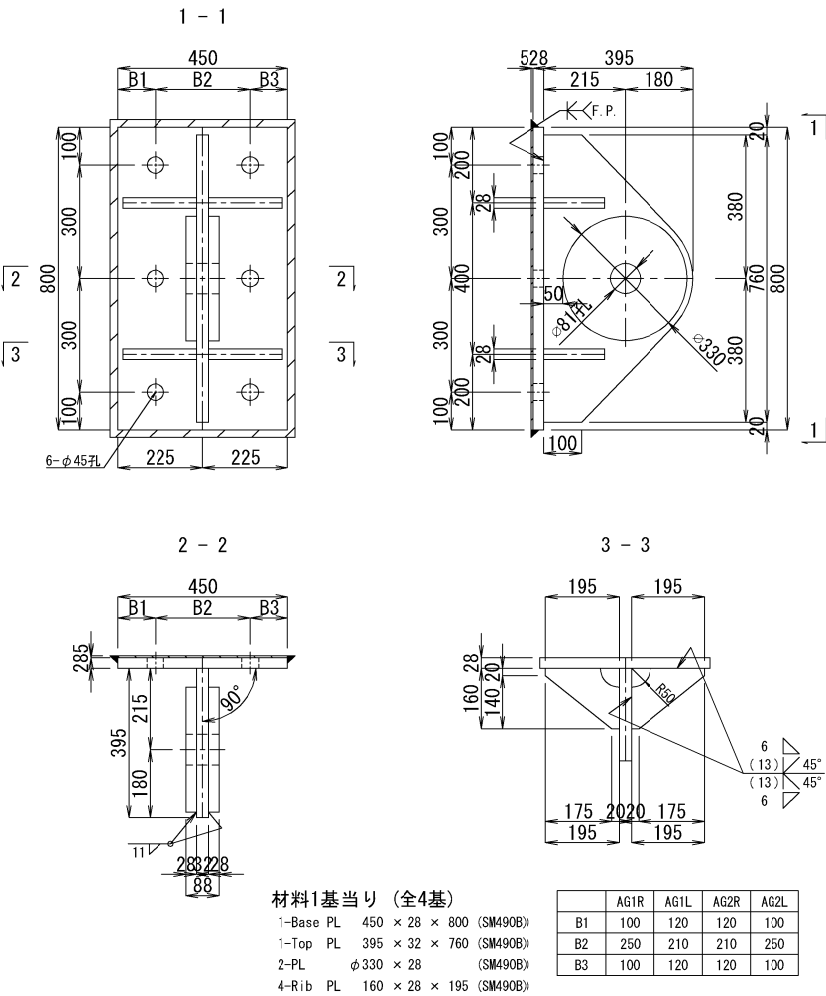
位置図



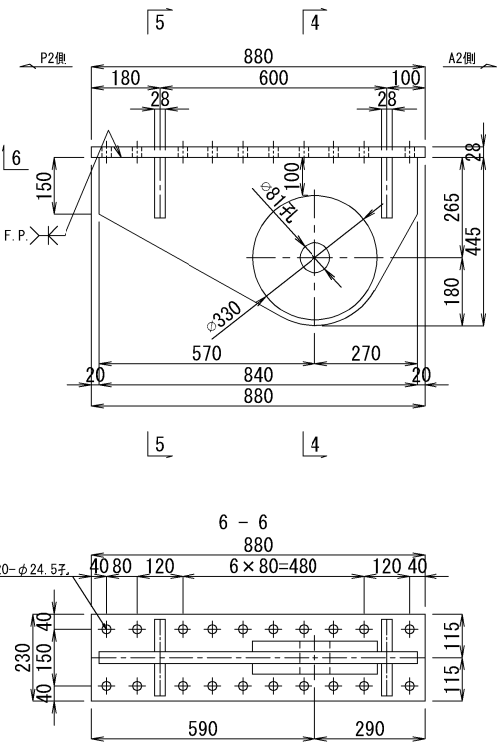
上 信 速 自 動 車 道	豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事
図面の種類	百々川橋 A 2橋台 落橋防止構造 C 1ーA 2 構造図(その 1)
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所

[詳細図]

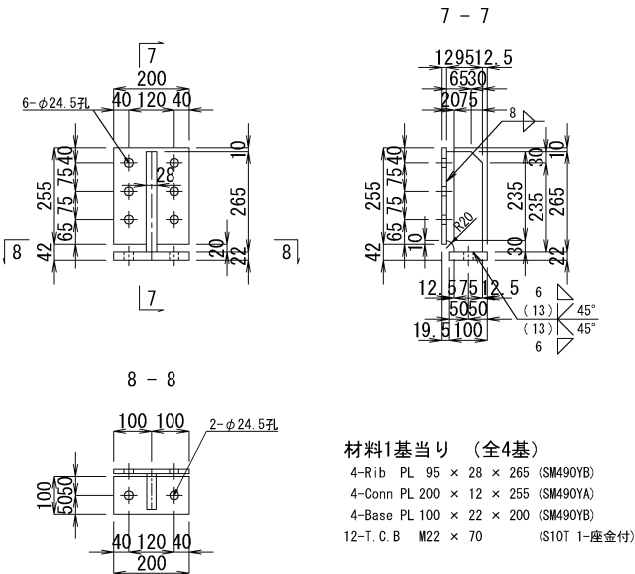
下部エブラケット詳細図 S=1:20



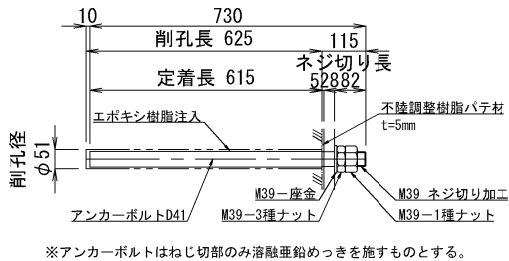
上部エブラケット詳細図 S=1:20



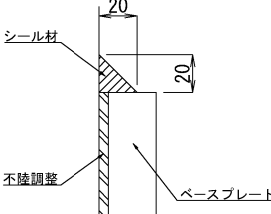
補強材 S=1:20



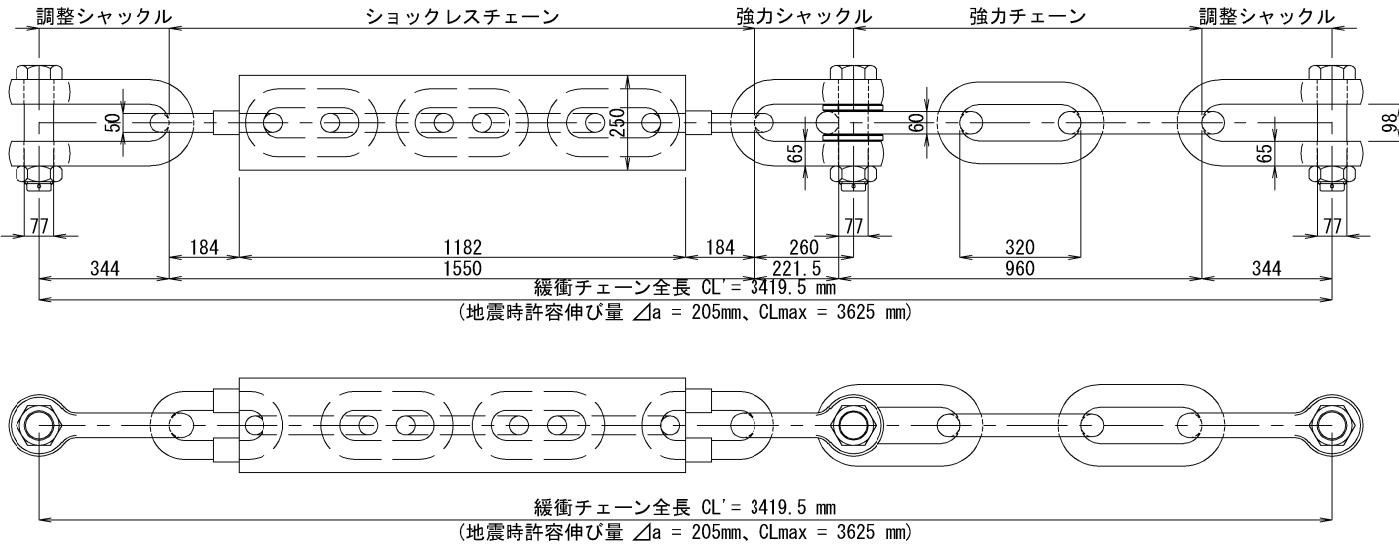
下部アンカーボルト詳細図 S=1:20



シール材詳細図 S=1:4



緩衝チェーン 9型(1350kN)3リンク<参考図> S=1:20



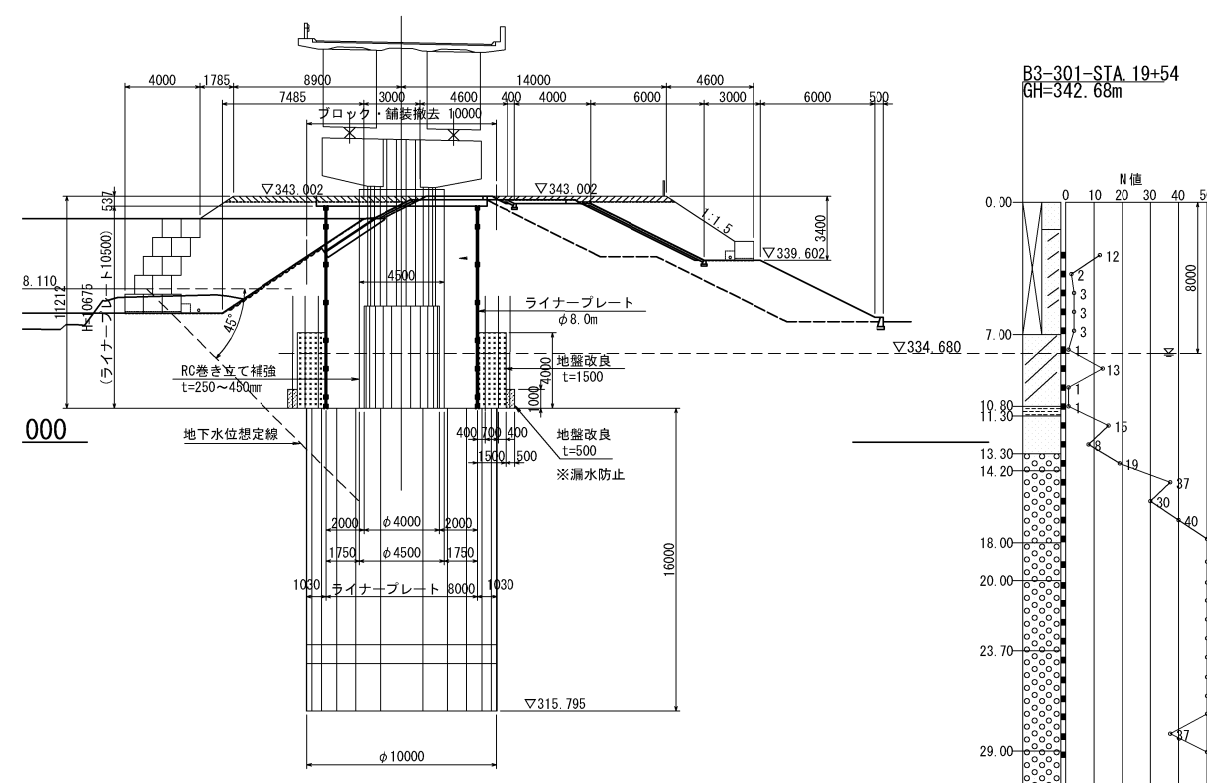
材 料 表 (落橋防止構造1本当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ショックレスチェーン	1350kN	本	1	SOM420H
強力チェーン	1350kN	個	3	SOM420H
強力シャックル	1350kN	個	1	SOM435又はSOM435H
調整シャックル	1350kN	個	2	SOM435又はSOM435H

- 注記)
- ブラケットの製作は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - 補強材は、左右対称のため製作時に留意すること。
 - 下部工側ブラケット及びアンカーボルト埋め込み部を除いた部分を、下記の通りの溶融亜鉛めっきとする。
HDZ177 鋼 板
HDZ149 アンカーボルト
 - 上部エブラケット・補強材は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 「F.P.」表記のある箇所は完全溶け込み溶接を用いる。

上 信 速 自 動 車 道	
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	百々川橋 A 2橋台 落橋防止構造 C 1ーP 2 構造図(その2)
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所

正面図 S=1 : 400

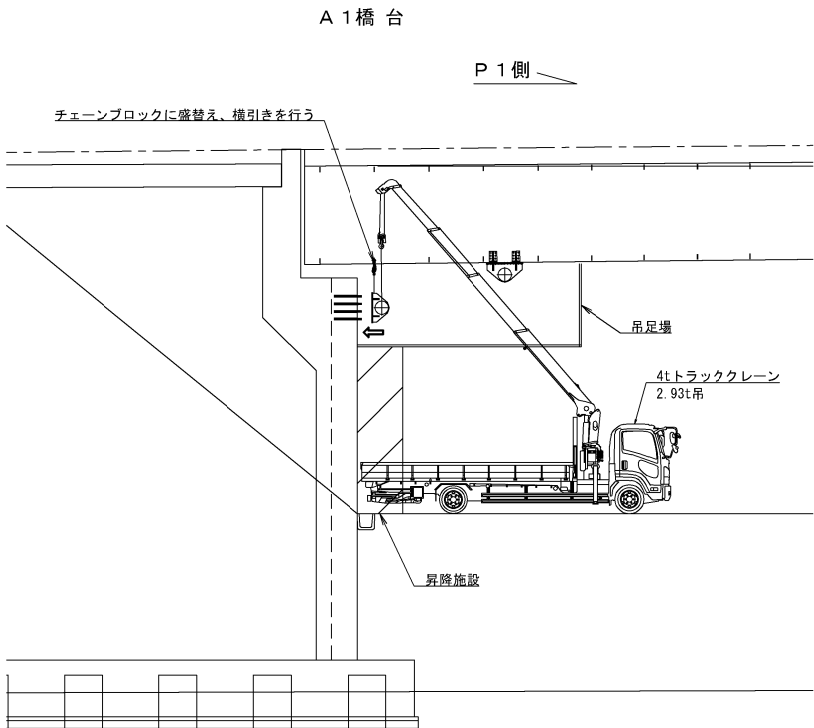
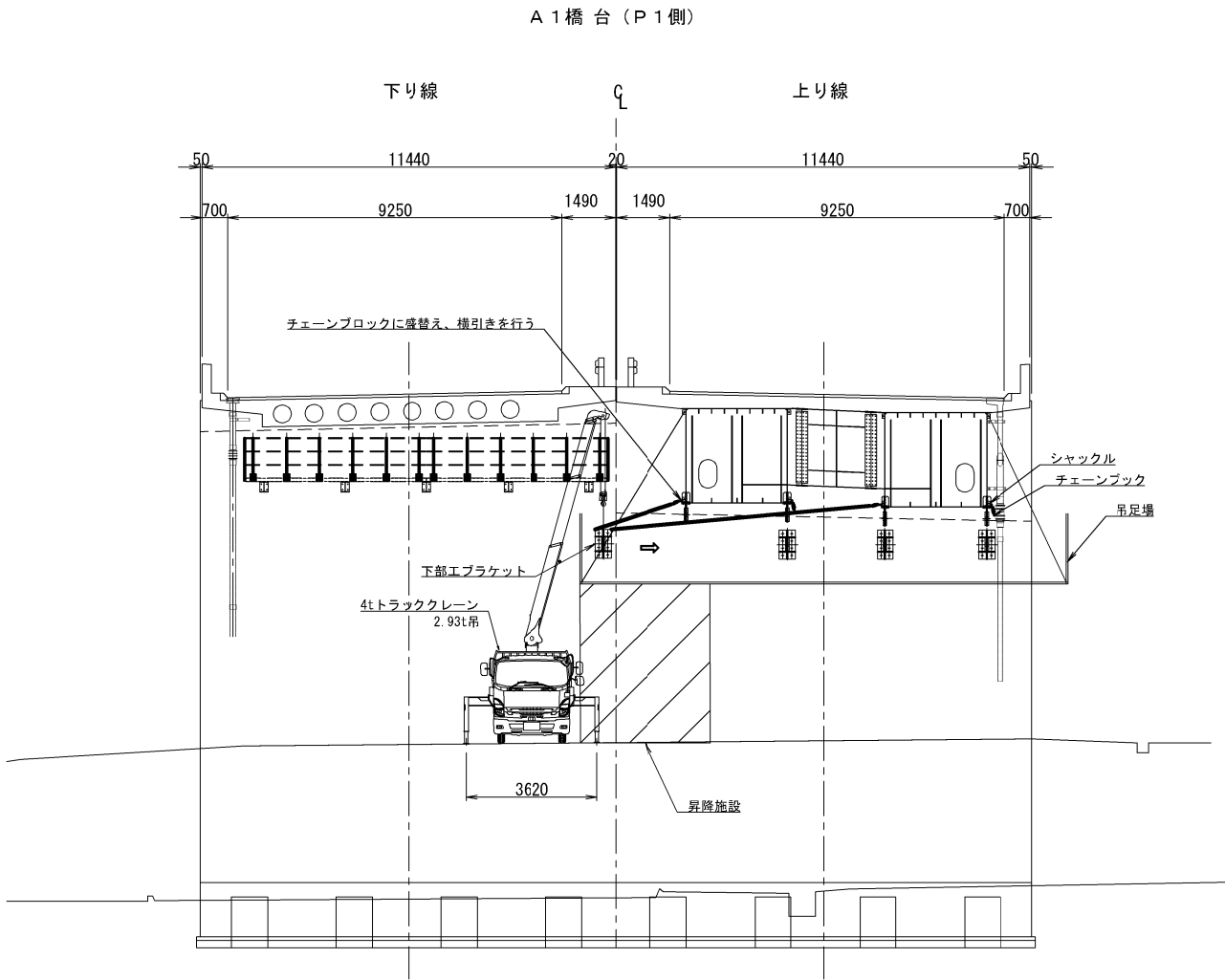


上 信 達 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 梁 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(より線) 薬液注入工事細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 務 所		関東支社

落橋防止構造(緩衝チェーン)

正面図

側面図



定格総荷重表 4tトラッククレーン(4t×4段ブーム)

使用ブーム	作業半径 (m)		4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	7.0	
	強度定格総荷重 (t)		1.43	1.23	1.08	0.98	0.88	0.73	
①+②+③	空車時 定格総荷重 (t)	ホイールベース 4.2m以上	最大張出	1.33	1.08	0.93	0.78	0.68	0.50
			中間張出	0.90	0.75	0.65	0.55	0.48	0.38
			最小張出	0.43	0.33	0.28	0.23	0.18	0.13
		ホイールベース 4.2m未満	最大張出	1.18	1.03	0.83	0.73	0.63	0.50
			中間張出	0.75	0.65	0.55	0.50	0.43	0.35
			最小張出	0.43	0.33	0.28	0.23	0.18	0.13
	アウトリガ最大張出3.62m								

アウトリガ最大張出3.62m

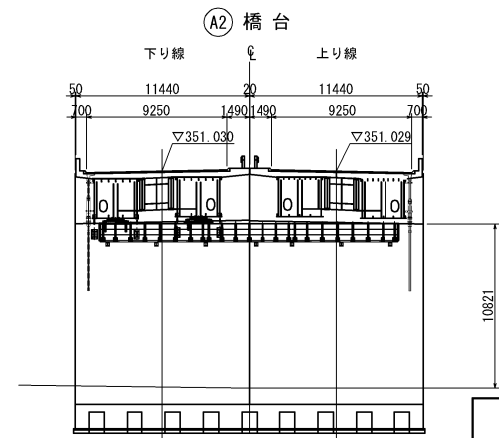
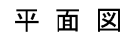
資材搬入(横引き)要領

1. 下フランジの吊り金具にシャックルを介してチェーンブロックを配置する。
2. クレーン付きトラックにて資材（0.60t程度）を足場内に荷下ろし。
3. 資材をクレーンで吊ったままの状態 でチェーンブロックに盛り替える。
4. 2本以上のチェーンブロックでブラケットを吊り下げた状態で、チェーンブロックの長さを調整しながら横方向に移動する。

吊上横引き設備 材料数量表		単位	数量	備考
仕様		A1	A2	
シャックル	M24	個	4	4
チェーンブロック		個	3	3
施工ヤードからによる橋下搬入箇所 A1、A2				

上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線)		
	資材搬入 横引き<参考図>		
縮 尺	1:200	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野 工 事 事 務 所		

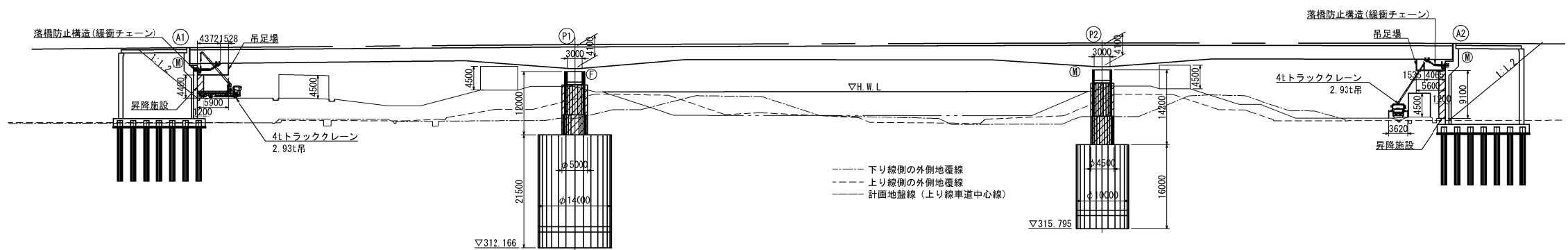
RC巻立て



上 信 速 自 動 車 道			
豊 州 高 架 渠 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百川川橋(上り線)		
	施工計画図(その1)〈参考図〉		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 事 務 所		関東支社

百々川橋(上り線) 施工計画図 (その2) <参考図> S=1:1000
落橋防止構造

側 面 図



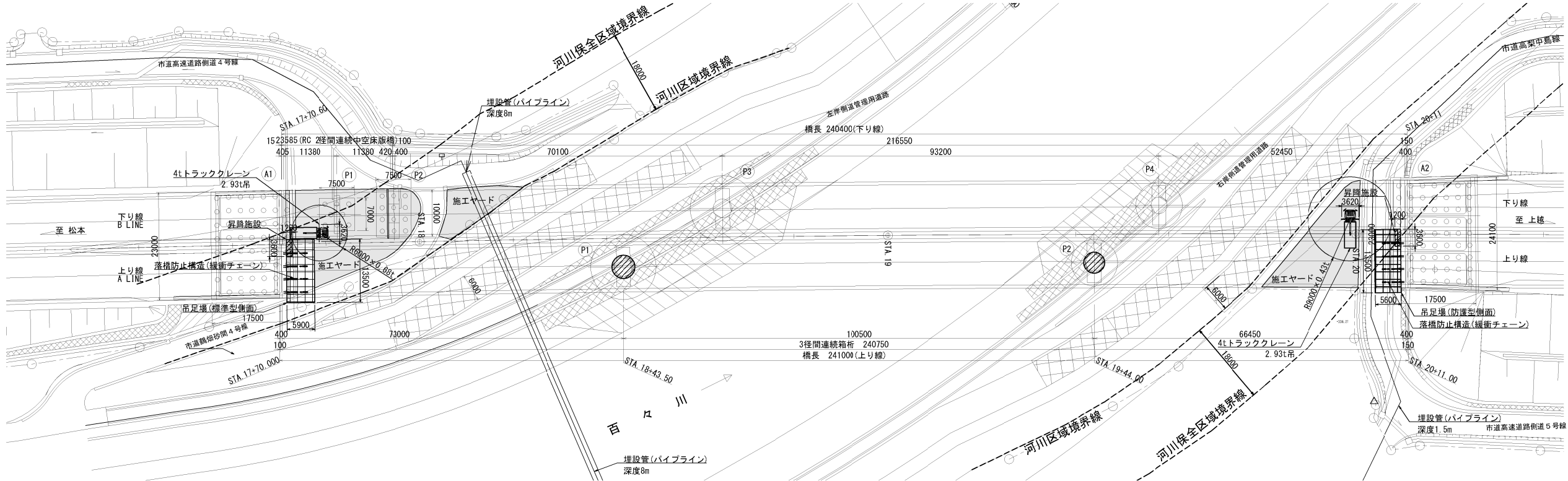
定格総荷重表 4tトラッククレーン (4t×4段ブーム)		単位: t						
使用ブーム	作業半径 (m)	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	7.0	
①+②+③	強度定格総荷重 (t)		1.43	1.23	1.08	0.98	0.88	0.73
	空車時 定格総荷重 (t)	ホイールベース 4.2m以上	最大張出	1.33	1.08	0.93	0.78	0.68
			中間張出	0.90	0.75	0.65	0.55	0.48
			最小張出	0.43	0.33	0.28	0.23	0.18
	最大張出 定格総荷重 (t)	ホイールベース 4.2m未満	最大張出	1.18	1.03	0.83	0.50	0.63
			中間張出	0.75	0.65	0.55	0.35	0.43

アウトリガ最大張出3.62m

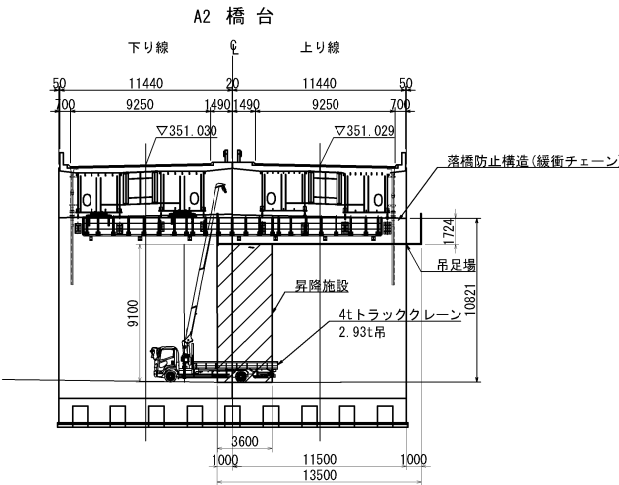
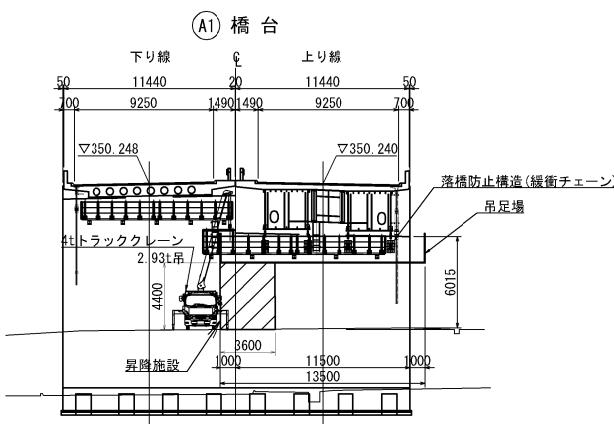
定格総荷重表 4tトラッククレーン(4t×5段ブーム)					単位: t			
使用ブーム	作業半径 (m)		5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	
①+②+③+④	強度定格総荷重 (t)		0.78	0.73	0.63	0.53	0.48	
	空車時 定格総荷重 (t)	ホイールベース 4.2m以上	アウトリガ最大	0.78	0.73	0.63	0.50	0.43
			アウトリガ最小	作業禁止				
		ホイールベース 4.2m未満	アウトリガ最大	0.78	0.73	0.63	0.48	0.42
			アウトリガ最小	作業禁止				

アウトリガ最大張出3.62m

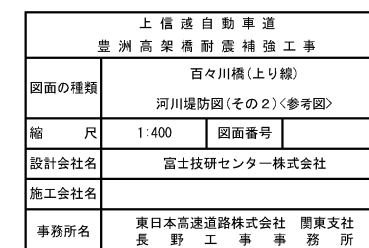
平 面 図



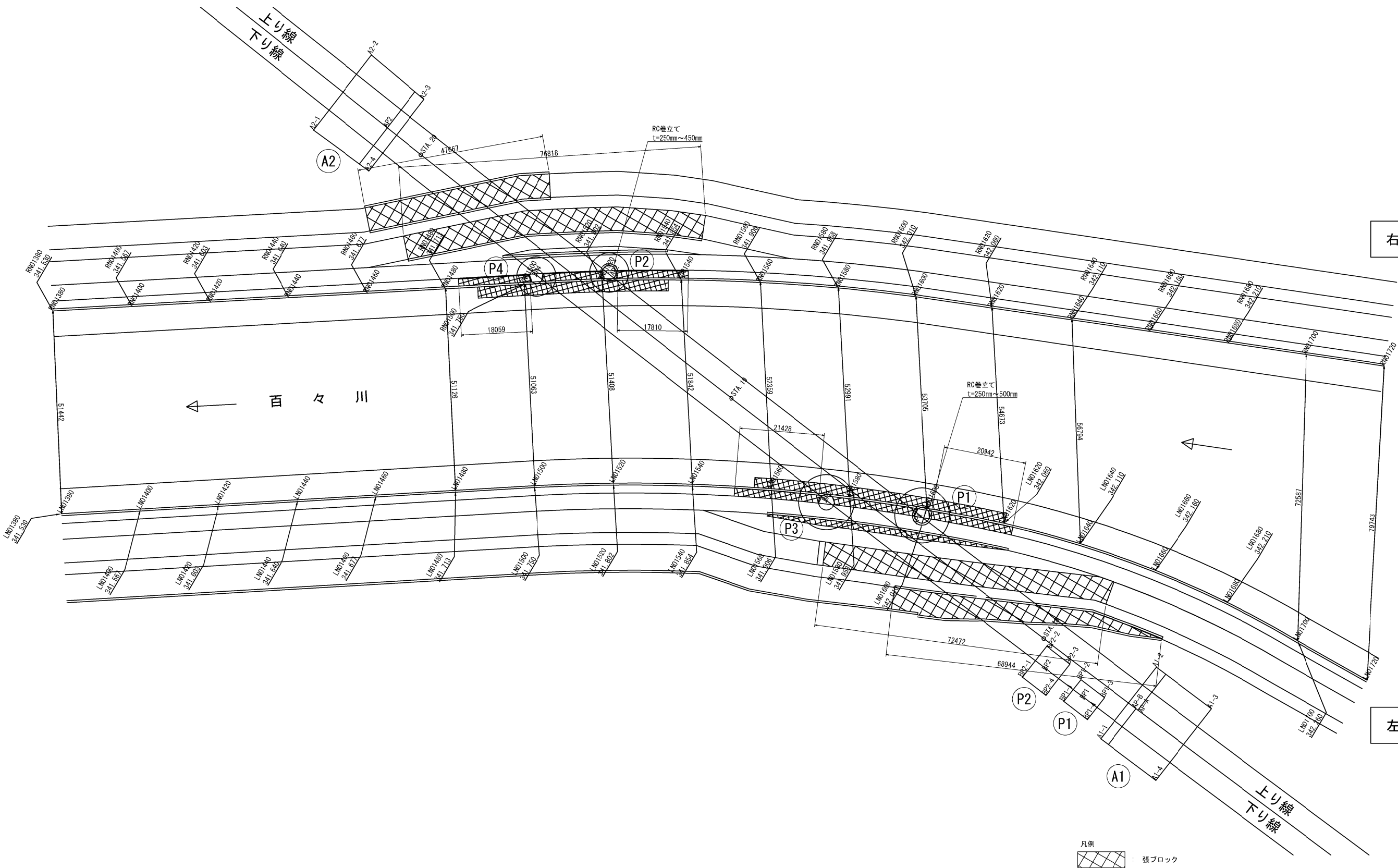
断 面 図 S=1:500



上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋(上り線) 施工計画図 (その2) <参考図>		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



[橋脚補強平面図]

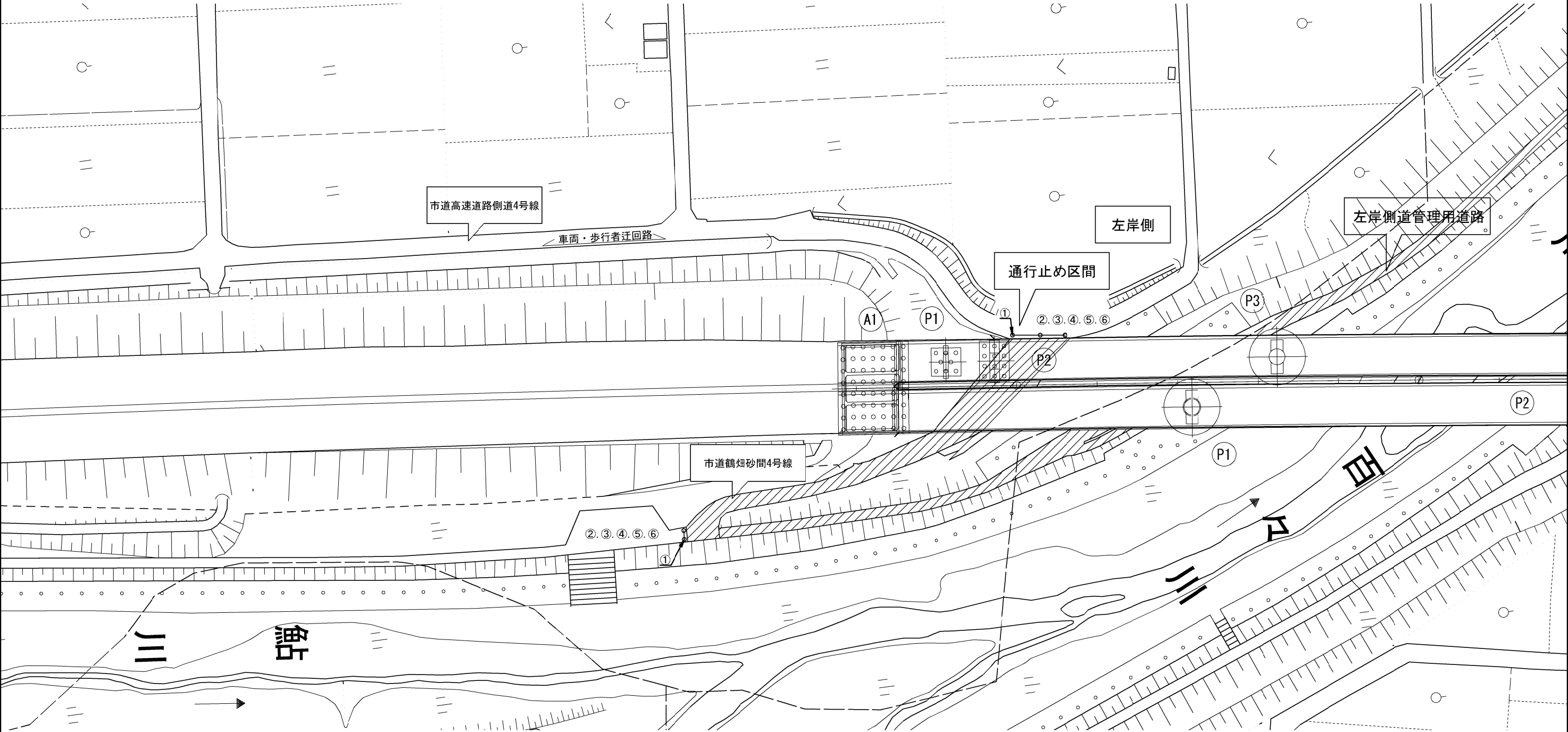


右岸側

左岸側

凡例
張ブロック

上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋(上り線)		
	河川堤防図(その3)<参考図>		
縮尺	1:1000	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

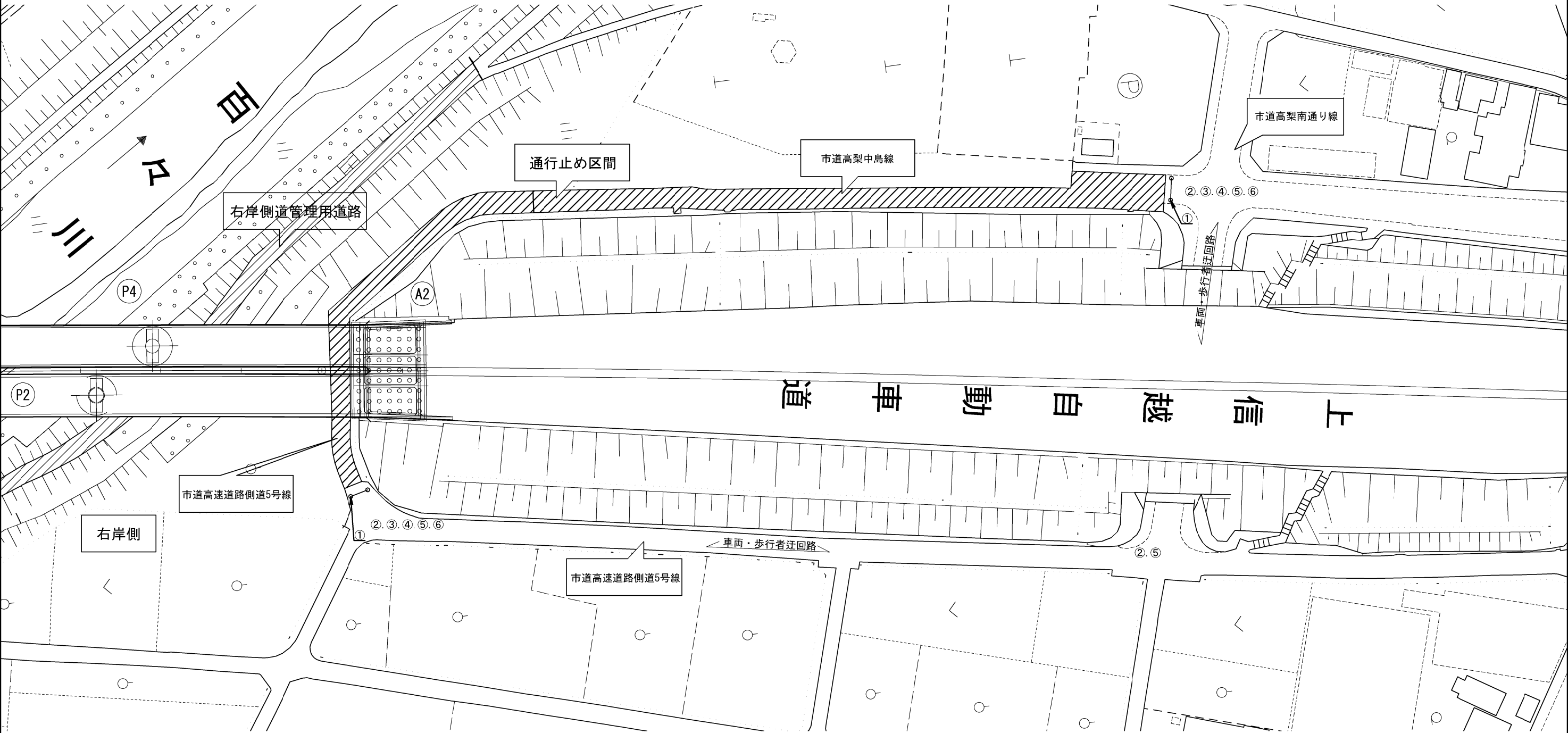


保安施設設置一覧

記号	保安施設
①	カラーコーン
②	規制標識
③	工事情報看板
④	工事説明看板
⑤	迂回路標示板
⑥	通行止め看板

注記）1. 市道鶴畑砂間4号線、百々川左岸側道管理用道路を終日通行止めとする。
2. 通行止め期間中は交通保安要員を配置しない。
3. 通行止め期間中は市道高速道路側道4号線を迂回路とする。

上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	百々川橋 通行止め計画図（その1） 〈参考図〉		
縮 尺	1:1000	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



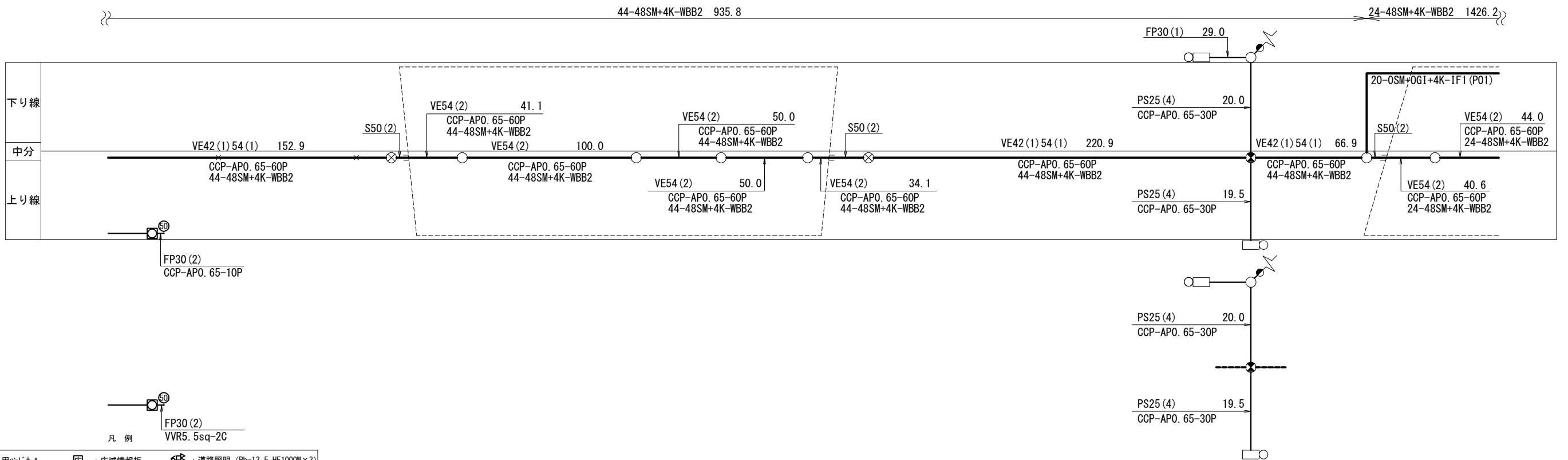
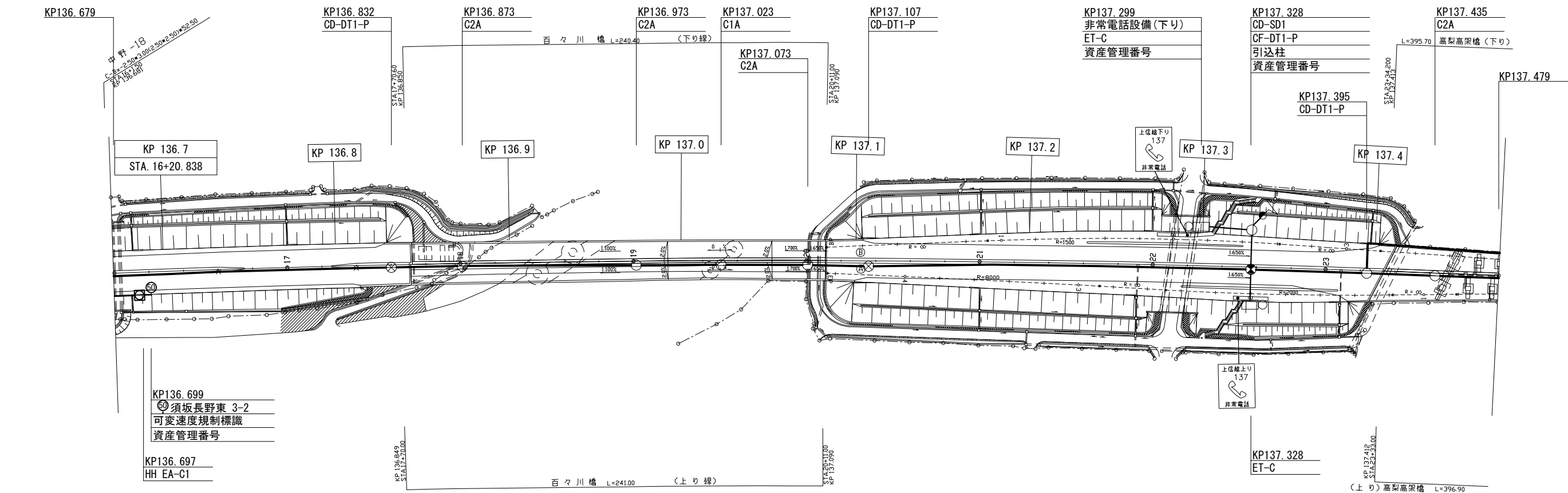
保安施設設置一覧

記号	保安施設
①	カラーコーン
②	規制標識
③	工事情報看板
④	工事説明看板
⑤	迂回路標示板
⑥	通行止め看板

注記) 1. 市道高梨中島線、市道高速道路側道5号線、百々川右岸側道管理用道路を終日通行止めとする。
2. 通行止め期間中は交通保安要員を配置しない。
3. 通行止め期間中は市道高速道路側道5号線、市道高梨南通り線を迂回路とする。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋 通行止め計画図（その2） 〈参考図〉		
縮 尺	1:1000	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

百々川橋（上り線）配線系統図（参考図） 136.7KP~137.4KP



- 凡例
- | | | |
|-----------|------------|--------------------------|
| 電気用ハンドヘル | 広域情報板 | 道路照明 (Pb-13.5 HF1000W×3) |
| 非常電話標示灯 | 交通量計測設備 | 道路照明 (P-13.5-V-HF1000W) |
| 非常電話 | 路車間情報設備 | 道路照明 (P-13.5-V-HF700W) |
| 可変式速度規制標識 | 気象観測設備 | 道路照明 (Pb-12-V-NH360W) |
| A型情報板 | ハイウェイカメラ設備 | 道路照明 (Pb-12-V-NH220W) |
| B型情報板 | CCTV設備 | 道路照明 (P-12-V-NH360W) |
| J型情報板 | C型情報板 | 道路照明 (P-12-V-NH220W) |
| 内照標識 | D型情報板 | 道路照明 (Pb-10-IV-LED) |
| 分岐点減灯 | 高圧引込柱 | 道路照明 (Pb-10-IV-NH220W) |
| 通信用ハンドヘル | 降雪深計 | 道路照明 (P-10-IV-NH220W) |
| 電話BOX | 外照標識 | 庭園灯 |
| 信号機 | ETC予告無線装置 | トンネル非常電話設備 |

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	百々川橋（上り線） 配線系統図（参考図）		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名	株式会社ネクスト東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		